

第2次津久見市子ども読書活動推進計画

“出かけよう！本の世界へ つなげよう！子どもと読書”



令和3年 3月

津久見市教育委員会

はじめに

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を膨らませる等、人生をより豊かなものにするためにとても大切なことです。子どもが心身ともに健やかに成長していくためには、周囲の大人が子どもの読書活動の意義を理解し、発達段階に応じた読書活動を意図的・計画的に推進していくことが重要です。

本市では、平成 25 年 3 月に「津久見市子ども読書活動推進計画」を策定し、さまざまな取組を進めてまいりました。

しかし、近年では情報メディアの急速な普及により、子どもの生活環境に大きな変化が見られ、子どもの読書離れが懸念されています。

このような実情に鑑み、さらなる子どもの読書活動を推進するため、第 1 次計画の基本的な考え方を継承するとともに、これまでの成果と課題、社会情勢の変化を踏まえ、「第 2 次津久見市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。

本市のすべての子どもが読書の楽しみを知り、あらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動ができるよう、本計画に沿った取組を進めてまいります。市民の皆さまならびに関係諸機関の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なるご尽力を賜りました策定委員の皆さまをはじめ、ご協力をいただきました関係各位に、心から感謝申し上げます。

令和 3 年 3 月

津久見市教育委員会
教育長 平山 正雄

目 次

はじめに

第1章 計画策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 計画の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 計画の対象・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2章 津久見市の子ども読書活動の現状と課題・・・・・・・・	2
1 第1次計画における方策ごとの取組と課題・・・・・・・・	2
(1) 家庭における読書活動の推進・・・・・・・・	2
(2) 市民図書館における読書活動の推進・・・・・・・・	3
(3) 保育園・幼稚園・認定こども園における読書活動の推進・・・・・・・・	4
(4) 学校における読書活動の推進・・・・・・・・	5
2 第1次計画における数値目標と実績・・・・・・・・	6
(1) 数値目標と達成状況・・・・・・・・	6
(2) 関係資料・・・・・・・・	6
3 子どもの読書に関するアンケート調査結果・・・・・・・・	8
(1) 調査対象・・・・・・・・	8
(2) 津久見市の子どもの読書状況・・・・・・・・	8
(3) 調査結果からみえる課題・・・・・・・・	12
第3章 第2次計画の基本的な考え方・・・・・・・・	13
1 第2次計画の目標と基本方針・・・・・・・・	13
2 発達段階に応じた取組について・・・・・・・・	14
3 計画の体系・・・・・・・・	15

第4章 子どもの読書活動推進のための取組	16
1 家庭における子どもの読書活動の推進	16
(1) 方針	16
(2) 具体的な取組	16
2 市民図書館における子どもの読書活動の推進	17
(1) 方針	17
(2) 具体的な取組	17
3 保育園・幼稚園・認定こども園における子どもの読書活動の推進	19
(1) 方針	19
(2) 具体的な取組	19
4 学校における子どもの読書活動の推進	19
(1) 方針	19
(2) 具体的な取組	20
5 第2次計画の数値目標	21
6 計画の進行管理	21

資料編	22
【資料1】子どもの読書活動の推進に関する法律	23
【資料2】津久見市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	26
【資料3】津久見市子ども読書活動推進計画委員名簿	27
【資料4】読書に関するアンケート調査	28
○ 児童・生徒アンケート結果	29
○ 児童・生徒保護者アンケート結果	39
○ 幼児保護者アンケート結果	49

第1章 計画策定にあたって

1 計画の趣旨

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできない大切なものです。

国は、平成13年12月に、「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができる環境整備の推進」を基本理念とする「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行しました。この法律に基づき、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を、その後、おおむね5年ごとに計画を見直し、平成30年4月には「第4次基本計画」を策定しました。

大分県では、こうした国の動向を踏まえ、平成26年3月の「第3次大分県子ども読書活動推進計画」に続き、令和2年3月に「第4次計画」を策定しています。

本市では、平成25年3月に「子どもがいつでも、自由かつ意欲的に読書に親しむことのできる環境をつくる」ことを目的とした「津久見市子ども読書活動推進計画（第1次計画）」を策定し、取組を進めてきました。

近年、テレビ、スマートフォン、インターネットや SNS、ゲームなどの様々な情報メディアの発達・普及により、子どもを取り巻く環境は大きく変化し続けています。多種多様な情報が簡単に入手・利用できるようになり、利便性が向上した反面、テレビやインターネットに接する時間に比べて読書時間が少なくなり、子どもの生活様式や読書習慣に大きな影響を与えている可能性が懸念されています。

このように社会が急激に変化していく中で、子どもの豊かな心の育成と生きるための基礎的な力となる読書活動のさらなる充実に向けて、第1次計画で得られた取組の成果と課題を検証し、現状を踏まえた上で、新たに「第2次津久見市子ども読書活動推進計画」を策定します。

2 計画の期間

計画の期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの、おおむね5年間とします。

3 計画の対象

計画の主な対象は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に準じ、おおむね18歳以下の子どもとします。また、子どもの読書活動推進に関わる保護者をはじめ、市民ボランティア・教育・福祉・保健関係者等も対象とします。

第2章 津久見市の子ども読書活動の現状と課題

1 第1次計画における方策ごとの取組と課題

(1) 家庭における読書活動の推進

子どもの読書習慣は、日常生活を通じて形成されることが大きく、家庭で読み聞かせを行ったり、一緒に読書をしたりするなど、子どもが本と出会い、読書に親しむきっかけ作りをしていくことが大切です。そのための取組として、10か月健診時に、絵本の読み聞かせと絵本を1冊プレゼントするブックスタート事業の実施、各施設でのおはなし会や読書イベントの開催と広報等による案内、また、学校とPTAが連携して「親子で取り組む読書活動」等を行い、家庭での読書活動を進めてきました。

しかし、子どもの読書活動の意義や大切さが保護者に十分に伝わっているとは言えず、今後は、さらに興味・関心を持ってもらえるような取組や啓発活動、本や読書に関する情報提供等の工夫が必要です。

《取組内容》

- ブックスタート事業、乳幼児健診時の読み聞かせの実施
- おはなし会や、読書イベント等の開催および広報等による案内
- 学校の週末課題として、PTAと連携した「親子で取り組む読書活動」の実施

《課題》

- ◆子どもの読書活動の意義や大切さ、家庭での読書推進のための保護者への啓発
- ◆絵本の選び方や読み聞かせの仕方などの情報提供
- ◆広報の内容、情報提供方法等の工夫



（２）市民図書館における読書活動の推進

津久見市で唯一の公共図書館である市民図書館は、子どもにとって家庭や園・学校以外で本と出会い、読書に親しみ、知的好奇心を満たすことのできる身近な場所として、読み聞かせ事業の実施や図書館まつりの開催、児童図書の充実や読書環境の整備、園・学校への団体貸出や施設見学等の受入れ、広報等を通しての図書館や本に関する情報提供等、様々な取組を行ってきました。

しかし、市民図書館を利用する子どもや保護者の数は年々減少傾向にあります。市の情報センターとして、もう一度原点に立ち返り、「だれでも、いつでも、どこからでも、どんな資料でも気軽に利用でき、市民に親しまれ、愛される図書館づくり」を目指し、図書館や本に興味をもってもらえるような企画や読書イベントの開催、積極的な情報発信など、魅力ある図書館づくりに取り組む必要があります。

《取組内容》

○定例おはなし会や図書館まつり等の開催および広報等による案内

- ・おはなしのへや（毎月第１・第３水曜日）
- ・おとぎのひろば（毎月第２土曜日）
- ・図書館まつり、子どもの読書週間特別おはなし会（各年１回）

○幅広い図書資料の選書・購入

○新着図書（週１回）・企画展示（月１回）・網代島関連（常設）コーナーの設置

○保戸島出張所に図書コーナーを設置（３か月ごとに児童書８０冊を入替）

○館内や玄関ホールを活用した展示会の実施

○団体貸出や移動図書館車の巡回、職場体験学習・施設見学等の受入れ

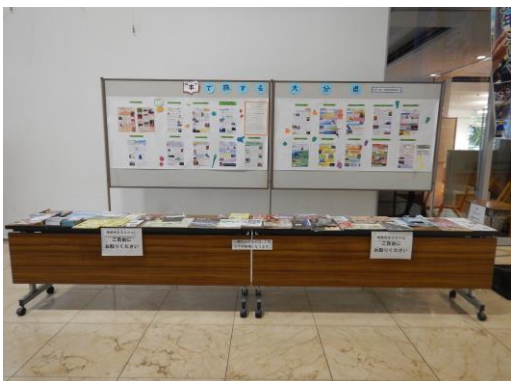
○市民図書館や本に関する情報提供

《課題》

◆図書館を身近に感じ、利用拡大につながるような事業の実施と図書館づくり

◆図書館や本に興味を持ってもらえるような情報発信・情報提供等の工夫

◆読み聞かせボランティア人数の減少



(3) 保育園・幼稚園・認定こども園における読書活動の推進

幼児期は、絵本や紙芝居を通して自分の世界を創造したり、思いを膨らませたりすることができるようになるため、読み聞かせ等を日常的に行い、読書を楽しむものとして習慣づける大切な時期です。市内の保育園・幼稚園・認定こども園においては、職員による読み聞かせがほぼすべての園で毎日行われており、その重要性は十分認識されています。また、それぞれの園が、子どもが本に親しむための工夫や環境づくりに努めています。

しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大により、市民図書館へ本を借りに行く時間が取れないこと、スマートフォンやタブレット等を低年齢児でもすでに扱わせている家庭が多く見られること、保護者に対して子どもの読書活動に関する啓発が難しいことなどが課題となっています。

《取組内容》

- 園職員による定期的な読み聞かせやエプロンシアター・ストーリーテリング・ブックトーク等の実施
- 子どもが興味を持てるような絵本選び、定期的な本の購入と入替え
- 子どもがいつでも本を手にとることができる部屋の配置やスペースの確保

《課題》

- ◆市民図書館へ本を借りに行く時間の確保
- ◆スマートフォンやタブレット等の普及による家庭での読書活動推進の難しさ
- ◆子どもへの読み聞かせや家庭における読書活動等の保護者に対する啓発



（４）学校における読書活動の推進

市内すべての小・中学校において、「朝読書」やボランティアによる「読み聞かせ」等が継続実施され、専任または兼任の学校図書館支援員が配置されています。また、図書管理システムの導入（７校中６校）やPTAと連携した家庭での読書活動等が進められ、多くの学校で学力向上アクションプランの中に読書活動を位置付けた取組を行っています。

しかし、学年や学校段階が進むにつれ、不読率が高くなる傾向にあり、子どもの読書時間の確保や本や読書への興味づけ等、家庭や他の関係機関・団体とリンクしたさらなる取組が必要となっています。

《取組内容》

- 朝読書やボランティアによる読み聞かせの実施
- 図書管理システムの導入（７校中６校）
- 専任もしくは兼任学校図書館支援員の配置と研修会の実施
- 学力向上アクションプランの中に読書活動を位置付けた取組
 - ・国語科の学習の中でのビブリオバトル
 - ・各教科での調べ学習
 - ・高学年児童による低学年児童への読み聞かせ など
- 隙間時間を利用した読書時間の確保
- 団体貸出、移動図書館車の利用
- 図書だよりやPTAと連携しての子どもの読書活動の啓発

《課題》

- ◆学年・学校段階が進むにつれての不読率の増加
- ◆子どもの読書時間の確保と読書への興味づけ
- ◆家庭や他の関係機関・団体とリンクした取組の推進
- ◆教職員の子どもの読書に関する研修機会や他校との情報交換の場の不足



2 第1次計画における数値目標と実績

(1) 数値目標と達成状況

目 標 名	平成 23 年度 計画当初	目標値	令和元年度 現状値
市民図書館児童図書の貸出冊数	18,343 冊	19,300 冊	15,617 冊
学校図書館の貸出冊数 ☆	62,758 冊	80,000 冊	80,385 冊
本を読んでいる児童生徒の割合	89.2%	100%	87.8%
朝読書の実施率 ☆	100%	100%	100%
市民図書館児童書蔵書冊数 ☆	39,301 冊	40,500 冊	42,718 冊
市内小中学校の学校図書館蔵書冊数	74,060 冊	80,000 冊	56,935 冊
読書関係研修会の実施回数	0 回	3 回	2 回
読み聞かせボランティア人数	53 人	60 人	42 人

※ ☆印が達成できた目標

(2) 関係資料

①市民図書館の児童図書利用実績（平成 23 年度～）

※利用者数は貸出利用者数

年度	蔵書数		利用者数		貸出冊数	
	総 数	内 児童書	総 数	内 18 歳以下	総 数	内 児童書
23	148,364 冊	39,301 冊	18,575 人	3,423 人	62,036 冊	18,343 冊
24	152,488 冊	40,437 冊	18,071 人	3,704 人	60,759 冊	18,604 冊
25	153,205 冊	41,503 冊	15,655 人	2,820 人	64,827 冊	20,083 冊
26	157,228 冊	42,680 冊	14,145 人	2,187 人	60,394 冊	17,808 冊
27	159,586 冊	43,733 冊	14,565 人	2,248 人	62,587 冊	19,714 冊
28	153,356 冊	39,457 冊	13,351 人	2,039 人	58,059 冊	18,951 冊
29	157,870 冊	40,851 冊	11,912 人	1,939 人	50,497 冊	15,762 冊
30	159,294 冊	41,814 冊	12,413 人	1,767 人	52,456 冊	15,953 冊
R1	160,892 冊	42,718 冊	11,800 人	1,701 人	49,698 冊	15,617 冊

② 市内各学校図書館の利用実績

学校名	児童生徒数		蔵書数		貸出冊数		
	H23 年度	R 元年度	H23 年度	R 元年度	H23 年度	R 元年度	1 人平均
津久見小学校	356 人	262 人	11,721 冊	12,172 冊	21,628 冊	26,291 冊	100 冊
青江小学校	196 人	154 人	8,518 冊	9,245 冊	17,419 冊	17,113 冊	111 冊
堅徳小学校	87 人	78 人	7,215 冊	8,308 冊	12,489 冊	16,459 冊	211 冊
千怒小学校	160 人	166 人	8,104 冊	6,766 冊	6,324 冊	15,254 冊	92 冊
越智小学校	2 人	休校	3,680 冊	—	120 冊	—	—
保戸島小学校	19 人	2 人	3,694 冊	3,316 冊	2,468 冊	268 冊	134 冊
第一中学校	322 人	235 人	12,813 冊	10,038 冊	2,388 冊	2,278 冊	10 冊
第二中学校	175 人	114 人	6,826 冊	7,090 冊	2,350 冊	2,722 冊	24 冊
四浦東中学校	5 人	休校	3,680 冊	—	150 冊	—	—
保戸島中学校	8 人	休校	5,539 冊	—	80 冊	—	—
無垢島小学校	2 人	休校	2,270 冊	—	80 冊	—	—

■市民図書館の児童図書蔵書数は、第 1 次計画当初の平成 23 年度から 3,417 冊増加しましたが、利用者数と貸出冊数は年々減少傾向にあります。

■学校図書館蔵書冊数の減少は、休校数の増加や古本の廃棄処分等が要因と考えられます。学校図書館図書標準に対する蔵書冊数の達成率は、すべての小・中学校で 100%を達成しています。貸出冊数は、児童・生徒数が減少している中で、17,627 冊増加しています。

■「朝読書」は、すべての小・中学校で継続実施されています。小学校や市民図書館では、ボランティアによる読み聞かせが定期的に行われていますが、それに携わる会員数は減少しています。



3 子どもの読書に関するアンケート調査結果

第2次計画を策定するにあたり、市内の子どもたちや各家庭での読書活動や読書環境の現状を把握するため、令和2年9月に「読書に関するアンケート」（巻末資料参照）を実施しました。

（1）調査対象

- ・ 小学校2年生、4年生、6年生、中学校2年生の児童・生徒とその保護者
- ・ 幼稚園・保育園・認定こども園の5歳児クラスの保護者

（2）津久見市の子どもの読書状況 ※アンケート調査結果より主なものを抜粋

【小学生・中学生】

Q. あなたは、本を読むのが好きですか

	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
好き	65%	58%	42%	34%	30%	35%	30%	30%	40%	38%
どちらかという好き	12%	22%	17%	37%	22%	30%	22%	19%	19%	28%
どちらかという嫌い	14%	7%	34%	10%	28%	14%	35%	14%	29%	11%
嫌い	5%	3%	3%	9%	13%	5%	7%	13%	7%	8%
どちらでもない	4%	10%	4%	10%	7%	16%	6%	24%	5%	15%

➡ 学年が進むにつれて、読書が好きな子どもの割合は減少傾向にあります。前回調査（平成24年度実施）と比較すると、本を読むのが「好き」もしくは「どちらかという好き」と回答した児童・生徒は全体で7ポイント増加しており、「嫌い」もしくは「どちらかという嫌い」との回答は全体で17ポイント減少しています。

Q. 勉強時間以外に 学校図書館で本を読んだり借りたりすることがありますか

	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よくある	20%	26%	24%	23%	20%	23%	12%	4%	19%	18%
時々ある	36%	43%	45%	40%	48%	48%	31%	29%	39%	40%
あまりない	18%	22%	19%	25%	20%	18%	20%	30%	19%	24%
ない	26%	9%	12%	12%	12%	11%	37%	37%	23%	18%

➡ 小学生では授業以外でも学校図書館を利用していますが、中学生では「ない」もしくは「あまりない」との回答が全体の67%となっており、前回調査より10ポイント増加しています。

Q. 市民図書館へ行くことがありますか

	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よく行く	23%	22%	19%	7%	9%	3%	2%	0%	12%	7%
時々行く	37%	24%	34%	42%	24%	14%	23%	16%	29%	24%
あまり行かない	14%	21%	28%	24%	37%	38%	35%	35%	30%	30%
行かない	26%	33%	19%	27%	30%	45%	40%	49%	29%	39%

➡ 市民図書館に「あまり行かない」または「行かない」と回答した児童・生徒の割合は、小学2年生と小学4年生が約6割、小学6年生と中学生では約8割にも上ります。

Q. 1か月に本を何冊くらい読みますか

	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
0冊	0%	2%	2%	5%	12%	6%	25%	34%	11%	12%
1冊	11%	3%	11%	6%	15%	2%	28%	28%	17%	10%
2冊	3%	16%	8%	8%	15%	12%	21%	13%	12%	12%
3冊	6%	12%	9%	8%	15%	9%	9%	7%	10%	9%
4～6冊	18%	12%	19%	32%	22%	31%	7%	12%	16%	22%
7～9冊	13%	12%	20%	13%	8%	11%	3%	2%	11%	10%
10～20冊	19%	26%	21%	14%	8%	23%	6%	3%	13%	16%
21冊以上	30%	17%	10%	14%	5%	6%	1%	1%	10%	9%

➡ 1か月に読む本が「0冊」と回答した児童・生徒は、小学6年生以外の学年で前回調査よりも増加しています。特に、中学生では前回調査より9ポイント増の34%となっており、非常に高い割合となっています。

Q. なぜ、本を読む時間がなかったのですか（複数回答可）

（1か月に読む本が「0冊」で、その理由が「時間がないから」と回答した児童・生徒への質問）

	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
勉強（塾や宿題）	80%	0%	42%	17%	36%	17%	38%	31%	41%	27%
クラブや習いごと	0%	0%	50%	50%	21%	33%	23%	31%	25%	34%
友達と遊ぶ	20%	0%	8%	0%	14%	17%	9%	8%	11%	8%
ゲームやテレビ	0%	0%	0%	33%	29%	33%	26%	25%	21%	27%
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	5%	2%	4%

➡ 小学生・中学生ともに「クラブや習いごと」との回答が最も多く、次いで、小学生では「ゲームやテレビ」、中学生では、「勉強（塾や宿題）」のためという理由になっています。前回調査と比較して、「クラブや習いごと」、「ゲームやテレビ」と回答した児童・生徒の割合が増加し、「勉強（塾や宿題）」と回答した割合は減少しています。

Q. 電子書籍を読んだことがありますか ※前回未調査項目

	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よく読む	—	19%	—	23%	—	25%	—	49%	—	33%
時々読む	—	13%	—	23%	—	26%	—	19%	—	23%
あまり読まない	—	9%	—	13%	—	10%	—	13%	—	13%
読んだことがない	—	59%	—	41%	—	39%	—	19%	—	31%

➡ 「よく読む」もしくは「時々読む」と回答した児童・生徒は、小学2年生では32%、4年生では46%、6年生では51%、中学生では68%となっており、学年が進むにつれて電子書籍の利用率は高くなっています。

【小学生・中学生の保護者】

Q. 子どもが本を読むことは、大切だと思いますか

	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
思う	95%	91%	94%	87%	97%	89%	96%	89%	95%	89%
少し思う	5%	9%	4%	13%	3%	11%	3%	11%	4%	11%
あまり思わない	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
思わない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%

➡保護者のほぼ全員が、子どもが本を読むことは大切だと思っていますが、「思う」と回答した割合は、すべての学年で前回調査よりも減少しています。

Q. 子どもが本に興味を持つようになったのは、何才くらいですか

	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
0～1才	19%	19%	21%	11%	11%	17%	14%	13%	16%	15%
2～3才	52%	44%	43%	41%	46%	40%	45%	33%	46%	39%
4～5才	21%	23%	19%	28%	22%	19%	18%	17%	20%	22%
6才以上	5%	11%	11%	14%	12%	17%	18%	26%	12%	17%
興味がない	3%	3%	6%	6%	9%	7%	5%	11%	6%	7%

➡ 子どもが本に興味を持つようになったのは、「2～3才」との回答が最も多く全体で39%、次いで「4～5才」が22%、「6才以上」が17%、「0～1才」が15%となっており、乳幼児期に本に興味を持つようになる子どもが多いことがわかります。



Q. 子どもに本を読んであげた経験はありますか

	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よくある	38%	36%	38%	26%	45%	36%	28%	32%	37%	32%
時々ある	48%	57%	47%	55%	30%	44%	50%	57%	44%	53%
あまりない	14%	7%	12%	16%	24%	15%	19%	8%	17%	12%
ない	0%	0%	3%	3%	1%	5%	3%	3%	2%	3%

➡ 「よくある（あった）」もしくは「時々ある（あった）」と回答した保護者は、全体で 85% となっており、多くの家庭で本の読み聞かせが行われている（行われていた）ことがわかります。

Q. 読み聞かせをする頻度 ※前回未調査項目

	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
ほぼ毎日	—	21%	—	9%	—	30%	—	19%	—	18%
週 3～5 回	—	9%	—	19%	—	14%	—	35%	—	19%
週 1～2 回	—	34%	—	37%	—	20%	—	25%	—	30%
月 2～3 回	—	20%	—	11%	—	14%	—	12%	—	14%
月 1 回程度	—	16%	—	24%	—	22%	—	9%	—	19%

➡ 「週 1～2 回」と回答した割合が最も高く全体で 30%、「週 1 回以上」読み聞かせを行っている（行っていた）家庭は 67%となっています。

Q. 本に関する情報はどこから得ますか（複数回答可） ※前回未調査項目

	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
テレビ	—	19%	—	17%	—	21%	—	20%	—	19%
新聞や雑誌	—	9%	—	11%	—	14%	—	14%	—	12%
インターネット	—	27%	—	31%	—	26%	—	26%	—	28%
公共図書館	—	8%	—	8%	—	4%	—	1%	—	5%
書店	—	27%	—	24%	—	27%	—	25%	—	26%
家族	—	5%	—	2%	—	3%	—	7%	—	4%
友人・知人	—	4%	—	5%	—	5%	—	6%	—	5%
その他	—	1%	—	2%	—	0%	—	1%	—	1%

➡ 「インターネット」から得ると回答した保護者が最も多く全体で 28%、次いで「書店」からが 26%、「テレビ」からが 19%、「新聞や雑誌」からが 12%となっており、半数以上の 59% がマスメディアやインターネットから情報を得ていることがわかります。

Q. 市民図書館を利用することがありますか

	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よくある	12%	16%	12%	9%	11%	4%	3%	4%	10%	8%
時々ある	39%	23%	43%	32%	27%	25%	31%	26%	35%	27%
あまりない	25%	21%	23%	23%	30%	24%	26%	30%	26%	24%
ない	24%	40%	22%	36%	32%	47%	40%	40%	29%	41%

➡「よくある」もしくは「時々ある」と回答した保護者が全体で35%、「あまりない」もしくは「ない」が65%となっています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等も考えられますが、前回調査と比較して、「あまりない」もしくは「ない」が10ポイント増加しています。

【幼児の保護者】 ※前回未調査

Q. 子どもに読み聞かせをしていますか

している	11%
時々している	39%
あまりしていない	36%
していない	14%

Q. 読み聞かせをする頻度

ほぼ毎日	7%
週3～5回	7%
週1～2回	28%
月2～3回	28%
月1回程度	30%

➡子どもに読み聞かせを「している」もしくは「時々している」と回答した保護者は50%で、その中で「週1回以上」読み聞かせをしている割合は42%となっています。この結果は、小・中学生の保護者の調査結果と比べると低い傾向にあります。

(3) 調査結果からみえる課題

- ◆勉強や習い事、部活等で忙しくなる小学校高学年から中学生の学校図書館を利用する時間の確保と読書への興味づけ
- ◆市民図書館の利用方法やサービス内容、新着資料や読書イベント等に関する情報発信と提供ツールの見直し
- ◆特に、乳幼児保護者への読書活動の意義や大切さについての啓発と情報提供

第3章 第2次計画の基本的な考え方

1 第2次計画の目標と基本方針

子どもが読書を好きになり、自主的に読書をするようになるためには、子どもの発達段階に応じた効果的な取組が行われることが重要です。

第2次計画では、第2章において示された現状と課題・情勢の変化等を踏まえ、「子どもが読書に親しむ習慣の形成」と「読書の楽しさを知ることができる環境づくり」を目標に、家庭、市民図書館、園、学校等が連携し、子どもの豊かな心の育成の糧となる読書活動の充実に向けて取り組んでいきます。

また、計画の目標を親しみやすくするためにキャッチフレーズ化し、次の4つを基本方針として子どもの読書活動を推進します。

■目標

「子どもが読書に親しむ習慣の形成」

「読書の楽しさを知ることができる環境づくり」

■キャッチフレーズ

“出かけよう！本の世界へ つなげよう！子どもと読書”

■基本方針

(1) 子どもが読書に親しむ機会の提供

子どもに読書の習慣が身に付くよう、家庭、図書館、園、学校等が連携・協力し、子どもが本と出会い、本に親しむきっかけ作りを行い、読書を楽しむことができる場所と機会を提供します。

(2) 子どもの読書環境の整備・充実

子どもの自主的な読書活動を支援するため、発達段階に応じた図書の充実と身近に本を手にするのできる読書環境の整備等に努めます。

(3) 子どもの読書活動に関する啓発の推進

子どもの読書活動を効果的に推進していくため、読書活動の意義や大切さについて理解を深め、関心を高めるよう啓発と情報提供に努めます。

(4) 子どもの読書活動を推進するための関係機関との連携

家庭、図書館、園、学校等の関係機関が連携し、相互協力を図りつつ、市全体で子どもの読書活動を推進する体制を整えます。

2 発達段階に応じた取組について

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期から発達段階に応じた読書活動が行われることが重要です。乳幼児、児童、生徒の一人ひとりの発達や読書経験に留意し、家庭、市民図書館、園、学校等それぞれにおいて、日常的・継続的に取組が進められることが求められています。

(1) 乳幼児期（0歳～6歳） 【本と出会う】

読み聞かせ等を通じて、絵本や物語に興味を示すようになります。さらに、様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになります。

(2) 小学生期（6歳～12歳） 【本を楽しむ】

低学年では、本の読み聞かせを聞くだけでなく、一人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増えます。

中学年になると、自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに、読むスピードが上がり、多くの本を読むようになります。

高学年では、本の選択ができ始め、好みの本の傾向が現れるとともに、読書の幅が広がり始めます。

(3) 中学生期（12歳～15歳） 【本から学ぶ】

内容に共感したり、感動したりできる本を選んで読むようになります。また、自分の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになります。

(4) 高校生期（15歳～18歳） 【本と生きる】

読書の目的、資料の種類に応じ、適切に本を読むことができるようになります。そして、知的興味に応じた幅広い読書ができるようになります。

(参照：「子供の読書活動推進に関する有識者会議論点まとめ」平成30年3月)



【計画の目標】

“ 出かけよう！本の世界へ つなげよう！子どもと読書 ”

「子どもが読書に親しむ習慣の形成」「読書の楽しさを知ることができる環境づくり」

基本方針

- ◎子どもが読書に親しむ機会の提供 ◎子どもの読書環境の整備・充実
- ◎子どもの読書活動に関する啓発の推進 ◎子どもの読書活動を推進するための関係機関との連携

子どもの読書活動推進のための取組

家 庭

- ブックスタート事業等の充実
- 読み聞かせや家庭での読書の推進
- 市民図書館の利用促進

保育園・幼稚園・認定こども園

- 絵本の読み聞かせ等の充実
- 読書環境の整備
- 市民図書館の活用・連携

子どもの発達段階に応じた取組

市 民 図 書 館

- 広報と啓発
- 児童図書資料の充実
- 読書環境の整備
- おはなし会やイベント等の開催
- 電子図書館サービス等の推進
- 園・学校等との連携
- 子ども同士で行う読書活動につながる支援
- 障がいのある子どもへの支援
- ボランティアとの連携
- 図書館員の研修

高校生期

中学生期

小学生期

乳幼児期

学 校

- 学校における読書時間の確保
- 学校図書館の活用推進
- 公共図書館との連携
- 児童・生徒同士で行う読書活動の推進
- 保護者への啓発
- 校内体制づくりの推進
- 教職員の研修機会の充実

第4章 子どもの読書活動推進のための取組

1 家庭における子どもの読書活動の推進

(1) 方針

子どもにとって生活の中心となる家庭は、子どもの読書習慣を形成する上で特に重要となる場所です。幼い子どもが物語の楽しさを知るには、おはなしをしてくれる人や絵本を読んでくれる人の存在が必要です。そのため、子どもにとって最も身近な存在である保護者が率先して読み聞かせを行ったり、一緒に本を読んだり、日常的・継続的に本と触れ合う機会を設けることが大切です。

また、家庭における読書活動を支援するため、園、学校、地域、市民図書館等が連携・協力して、ブックスタートやおはなし会など親子で参加して楽しむことができる事業の充実、絵本や児童図書等の情報提供、読書や読む力を身につけることの大切さについて理解促進のための保護者への啓発を行います。

(2) 具体的な取組

①ブックスタート事業等の充実

子どもが絵本と出会い、親子で触れ合うきっかけ作りとして、ブックスタート事業を継続実施します。その際、市民図書館の利用案内や行事予定表等をあわせて配布し、ブックスタート後の家庭における読書活動を支援します。

また、子育て支援アプリ「てとて」や広報等を活用して、発達段階に応じた絵本の紹介や選び方、読み聞かせの仕方などの情報提供を行います。

②読み聞かせや家庭での読書の推進

保護者が協力して子どもに読み聞かせを行ったり、子どもと一緒に本を読んだり、家族で同じ本を読んで感じたことを話し合ったりするなど、家庭での読書時間が作られるよう広報やPTA等を通して保護者への働きかけを行います。

③市民図書館の利用促進

保護者が子どもと一緒に図書館へ出かけ、本を借りたり、おはなし会に参加したりするなど、子どもが本に親しみ、読書の楽しさを知るためのきっかけ作りの場所となるよう、絵本や児童書の充実、親子で参加できるイベントの開催、図書館周辺を含めた環境整備、積極的な広報活動等を行い、市民図書館の利用促進に努めます。



2 市民図書館における子どもの読書活動の推進

(1) 方針

市民図書館は、子どもが家庭や学校以外で多くの本と出会い、読書の楽しさを知り、知的好奇心を満たす場所であり、地域における子どもの読書活動を推進する上で、中心的な役割を果たすことが期待されています。そのための取組として、魅力ある図書資料の収集、子どもの興味・関心を引く企画展示コーナーの設置、おはなし会や読書イベント等の開催、読み聞かせボランティアの活動場所と機会の提供等を引き続き行います。

また、子どもへの働きかけだけではなく、広報等を活用し、保護者へ本や図書館に関する情報提供、子どもの読書活動の意義や大切さについての啓発に努めていきます。

(2) 具体的な取組

①広報と啓発

図書館だよりやホームページ等、様々な広報媒体を活用し、子どもの本や読書活動に関する情報発信や図書館のサービス内容等の積極的な広報活動を行います。また、他の関係機関と連携・協力し、より広く子どもの読書活動への関心・興味が深まるよう啓発に努めます。

②児童図書資料の充実

新刊本や長く読み継がれてきた名作、調べ学習に役立つ図書など、子どもの多種多様なニーズに応えられる、様々なジャンルの図書を収集します。また、除籍図書の無料配布等を行い、家庭や学校などでの読書活動に有効活用できるよう取り組んでいきます。

③読書環境の整備

子どもが探している本を見つけやすいよう、案内・分類表示や配置の仕方を工夫し、季節やテーマに沿ったコーナー作りや企画展示等の充実を図ります。市民図書館に蔵書がない本は、リクエスト対応や他の公共図書館からの相互貸借などを活用し、可能な限り提供します。

また、図書館から遠い地域の子どもが身近に本を楽しめるよう、移動図書館車や保戸島出張所図書コーナーの内容を充実させ、読書環境の整備に努めます。

④おはなし会やイベント等の開催

職員や読み聞かせボランティアによるおはなし会を定期的に行い、絵本の読み聞かせ・わらべうた・手遊び・紙芝居・パネルシアター等を通して、家庭での読み聞かせ活動につなげます。その他にも、本や図書館に親しみを覚え、興味・関心を持つような企画を行います。

⑤電子図書館サービス等の推進

時間や場所を問わず利用できる、電子図書館やインターネットでの資料検索・予約サービスを広く周知し、活用の促進を図ります。また、子どもが利用しやすくわかりやすいようホームページ等の工夫を行います。

⑥園、学校等との連携

園や学校等へ、新着資料やイベント情報、図書館の利用案内等についての情報提供を行います。そして、子どもが読みたい本と出会えるよう、園・学校等の要望に応じた団体貸出や図書資料の購入、調べ学習のためのレファレンスサービス等の支援を行い、効果的な子どもの読書活動の推進に努めます。

また、図書館についての理解と本への興味・関心を深めるため、職場体験学習や施設見学、読み聞かせサポーター等の積極的な受入れを行います。

⑦子ども同士で行う読書活動につながる支援

小学生向けに、「1日子ども図書館員」の体験や、読書の楽しみを友だちと共有し、読書活動の輪を広げる役割を担う「子ども司書」の養成など、子ども同士で行う読書活動につながる支援を行います。

⑧障がいのある子どもへの支援

障がいのある子どもが、図書館を気軽に利用し、読書に親しむことができるよう、大活字本や点字図書、録音図書やLLブックなどの様々な形態の図書の収集に努めます。

⑨ボランティアとの連携

子どもの読書活動を推進していくために、読み聞かせボランティアの力は不可欠です。定例おはなし会や読書イベントなど活動場所と機会の提供、大型絵本等の貸出等、その活動を充実させるための支援を行います。

⑩図書館員の研修

大分県立図書館等で開催される研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上を図ります。また、学校図書館支援員の研修会や勉強会へ図書館員が参加し、情報交換や意見交換を行うなど交流を深めます。

3 保育園・幼稚園・認定こども園における子どもの読書活動の推進

(1) 方針

乳幼児期に、読み聞かせ等を通して読書の楽しさを知り、絵本や物語の世界に触れることで、子どもは言葉を学び、創造力を高め、豊かな心を育くんでいきます。園の職員をはじめ、保護者や他機関と連携・協力を図り、乳幼児が絵本や物語に親しむ機会や環境作りを積極的に行うことが期待されています。また、保護者に対し、読み聞かせや家庭で読書に親しむことの大切さや意義を広く普及することが求められています。

(2) 具体的な取組

①絵本の読み聞かせ等の充実

子どもに絵本や物語の世界を楽しんでもらえるよう、絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなど、様々な手法を用いた読み聞かせを充実させます。

あわせて、家庭での読書活動を支援するため、保護者へ園だより等で読み聞かせ等の大切さや意義を伝え、おすすめの絵本の紹介、絵本の貸出等を行います。

②読書環境の整備

子どもが年齢や発達に応じた様々な絵本や物語と出会えるよう、図書の充実に努め、子どもがいつでも自由に図書を手に取って見られるようなスペースの確保等、読書環境づくりに努めます。

③市民図書館の活用・連携

図書館施設の利用や団体貸出の活用等を進め、子どもが絵本や物語に触れ合う機会を充実させます。

4 学校における子どもの読書活動の推進

(1) 方針

子どもが多く時間を過ごす学校における読書活動は、生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成する上で、大きな役割を担っています。

学校教育法第21条においては、義務教育として行われる普通教育の目標の一つとして「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」が規定されています。学習指導要領においても、言語活動を充実するとともに、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童生徒の自主的・自発的な読書活動を充実させることが定められています。

これらを踏まえ、各教科等を通して、読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を身に付けさせるとともに、家庭や地域等と連携を図り、読書活動に取り組むことが大切です。

また、学校段階が進むにつれ、他の活動への関心が高まり、相対的に読書への関心が低くなっていく子どもも見られることから、読書への興味・関心を高める取組を行うことも必要です。

(2) 具体的な取組

①学校における読書時間の確保

「朝読書」や「読み聞かせ」、「隙間時間を利用した読書」などの取組により、一定の読書時間を確保し、読書離れが懸念される年代においても、読書習慣の基礎確立を目指します。また、読み聞かせボランティアとも連携しながら、各学校に応じた読書活動の推進を図ります。

②学校図書館の活用推進

児童・生徒の様々な興味・関心に応え、個々の課題に応じた調べ学習等を効果的に進めることができるよう、図書資料や読書環境の整備に努めます。

また、各教科等において、計画的に学校図書館の利活用がされるよう努めます。

③公共図書館との連携

子どもと本の出会いをより身近なものとするために、移動図書館や団体貸出の活用、学級文庫の充実等を図ります。また、学校図書館に所蔵していない図書資料を公共図書館から借りたり、職場体験学習や校外学習を実施したりするなど、子どもが本に興味を持ち、活動の幅を広げられるきっかけ作りに取り組みます。

④児童・生徒同士で行う読書活動の推進

子どもの読書への関心を高めるためには、子ども同士で本を紹介したり、話合いや批評をしたりする活動を行うことが有効と考えられています。図書委員会の活動の活性化やビブリオバトル等の取組を推進し、本への興味づけや読書の幅を広げるきっかけ作りにつなげます。

⑤保護者への啓発

学校だよりや図書だより等を活用した、おすすめの図書の紹介や読書の必要性の情報発信、また、PTA と連携し、家庭における読書活動の啓発等を行うなど、保護者と子どもと一緒に読書を楽しめるような働きかけを行います。

⑥校内体制づくりの推進

教職員と司書教諭、学校図書館支援員が連携し、学校教育目標の中に学校図書館の活用方法や読書活動について計画し、意識や指導力の向上を図ります。

⑦教職員の研修機会の充実

教職員の研修機会を充実させ、資質と提供サービスの向上に努めます。また、各学校の読書活動の状況や取組等の情報を共有できるよう交流の場を設け、すべての学校が同じ方向性の下で子ども読書活動推進に取り組むことができるように努めます。

5 第2次計画の数値目標

子どもの読書活動を推進するための指標として、第1次推進計画の達成状況及び津久見市の現状を踏まえて、次に掲げる数値を第2次計画の目標とします。

指 標 名		令和元年度 基準値	令和7年度 目標値
市民図書館児童図書の貸出冊数		15,617冊	19,300冊
市民図書館の1日当たりの貸出利用者数 (対象：18歳以下)		6人	8人
学校図書館の1人当たりの年間貸出冊数	小学校	114冊	132冊
	中学校	14冊	24冊
1か月に1冊も本を読まない児童・生徒の割合	小学校	4.3%	1%
	中学校	34%	25%
読書が好きな児童・生徒の割合		66%	80%
家庭で子どもに読み聞かせを行っている割合 (対象：未就学児の家庭)		85%	90%
障がいのある子ども向け図書の提供		14冊	60冊
読書関係研修会の年間実施回数		2回	3回
読み聞かせボランティア人数		42人	50人

6 計画の進行管理

各関係機関が年度ごとに達成度の検証や評価を行い、次年度以降の活動に反映させます。また、課題の共有や情報交換の場として「子ども読書活動推進連絡会議（仮）」を毎年開催し、関係機関、団体等が連携し、効果的に子どもの読書活動推進に取り組めます。



＝資料編＝



【資料１】子どもの読書活動の推進に関する法律

【資料２】津久見市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

【資料３】第２次津久見市子ども読書活動推進計画策定委員

【資料４】読書に関するアンケート調査

- 児童・生徒アンケート結果
- 児童・生徒保護者アンケート結果
- 幼児保護者アンケート結果

子どもの読書活動の推進に関する法律

（目的）

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

津久見市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定により津久見市こども読書活動推進計画(以下「推進計画」という。)を策定するため、津久見市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) その他推進計画の策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成し、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

2 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が不在のときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、推進計画策定までとする。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、これを主宰する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員会の構成員以外の者を委員会の会議に出席させ、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、平成24年8月1日から施行する。

第2次津久見市子ども読書活動推進計画策定委員会委員

職 名	氏 名	摘 要
学校校長会代表	梶原 敬二	千怒小学校長
津久見市教育研究協議会 図書部会代表	徳丸 克己	津久見小学校長
学校図書館支援員代表	川野 裕子	青江小支援員
津久見市連合 PTA 代表	東 千鶴	連合 PTA 事務局長
読み聞かせボランティア代表	福田 由美子	社会教育委員
幼保小連絡会代表	佐藤 廉	青江小学校長
社会福祉課長	黒枝 泰浩	
教育委員会 学校教育課長	岩尾 恭輔	
教育委員会 学校教育課指導主事	橋本 修二	
教育委員会 生涯学習課長兼図書館長	小畑 春美	

「読書に関するアンケート」調査

この調査は、「第2次津久見市子ども読書活動推進計画」を策定するにあたり、市内の子どもや各家庭での読書活動や読書環境の現状を把握するために実施したものです。

第1次推進計画で取り組んだ内容から子どもの読書活動がどのように変わってきたか比較検証するために、調査対象者及び質問内容はおおむね前回調査（平成24年度実施）と同じものにしました。

◆調査対象・人数

	調査対象	調査対象人数	回答人数	回答者率
児童・生徒	小学校2年生	90人	90人	100%
	小学校4年生	119人	116人	97%
	小学校6年生	108人	108人	100%
	中学校2年生	112人	111人	98%

	調査対象	調査対象人数	回答人数	回答者率
保護者	幼児（5歳児）保護者	85人	56人	66%
	小学校2年生保護者	89人	79人	89%
	小学校4年生保護者	119人	98人	82%
	小学校6年生保護者	107人	96人	90%
	中学校2年生保護者	112人	78人	70%

◆調査票

- ・児童・生徒用「読書に関するアンケート」
- ・児童・生徒保護者用「読書に関するアンケート」
- ・幼児（5歳児）保護者用「読書に関するアンケート」 ※平成24年度未実施

◆調査期間

令和2年9月1日～30日

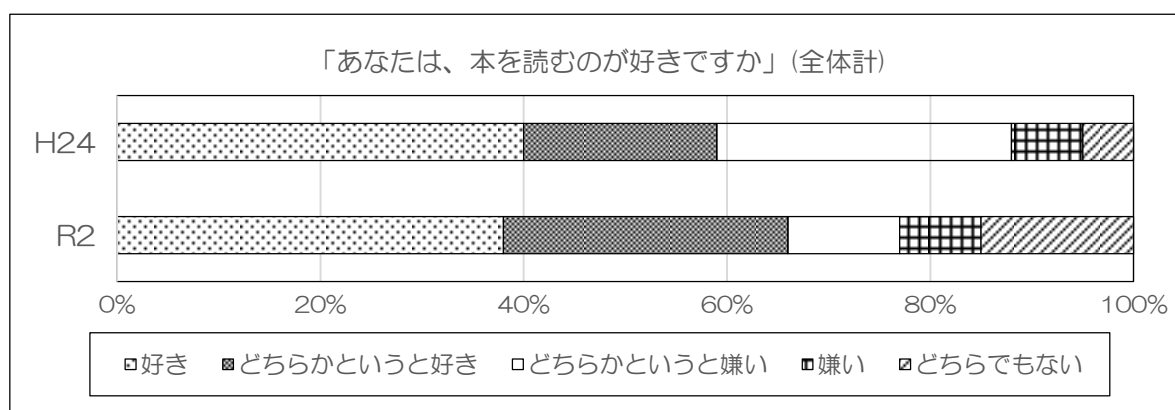
◆調査結果

平成24年度調査と今回実施した調査結果を表記して比較検証し、現状と傾向等を記しています。

児童・生徒「読書に関するアンケート」結果

Q1. あなたは、本を読むのが好きですか

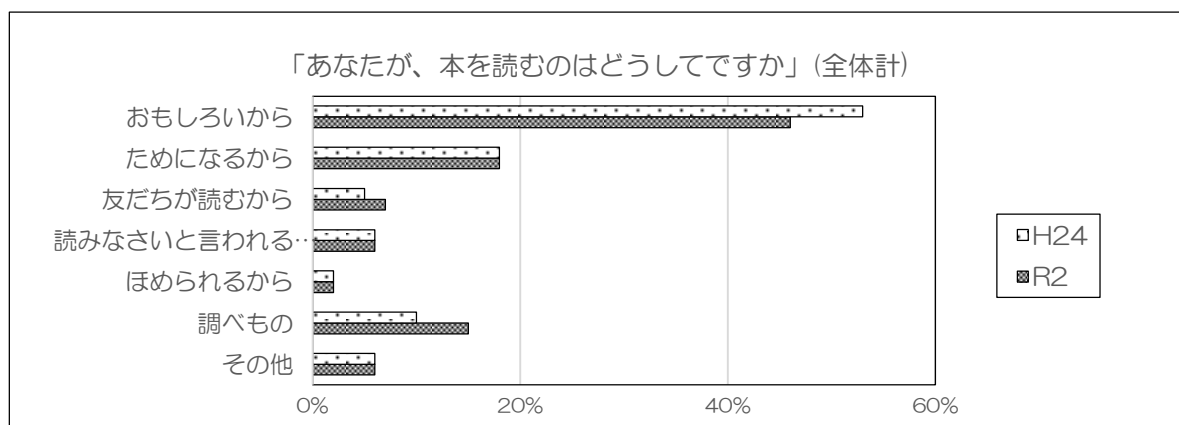
学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
好き	65%	58%	42%	34%	30%	35%	30%	30%	40%	38%
どちらかという好き	12%	22%	17%	37%	22%	30%	22%	19%	19%	28%
どちらかという嫌い	14%	7%	34%	10%	28%	14%	35%	14%	29%	11%
嫌い	5%	3%	3%	9%	13%	5%	7%	13%	7%	8%
どちらでもない	4%	10%	4%	10%	7%	16%	6%	24%	5%	15%



- 令和2年度調査では、本を読むのが「好き」もしくは「どちらかという好き」と回答した児童・生徒の割合は、全体の65%を超えていますが、学年が進むにつれてその割合は低くなっています。
- 平成24年度と令和2年度の調査結果を比較すると、本を読むのが「好き」もしくは「どちらかという好き」と回答した児童・生徒の割合は増加しており、「嫌い」もしくは「どちらかという嫌い」と回答した割合は減少しています。

Q2. あなたが、本を読むのはどうしてですか（複数回答可）

学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
おもしろいから	43%	43%	57%	45%	53%	44%	60%	51%	53%	46%
ためになるから	22%	18%	19%	18%	14%	22%	18%	15%	18%	18%
友だちが読むから	5%	9%	2%	6%	10%	4%	4%	8%	5%	7%
読みなさいと言われるから	4%	5%	4%	6%	7%	8%	7%	7%	6%	6%
ほめられるから	8%	3%	1%	3%	0%	2%	0%	1%	2%	2%
調べもの	14%	20%	11%	14%	9%	15%	5%	10%	10%	15%
その他	4%	2%	6%	8%	7%	5%	6%	8%	6%	6%

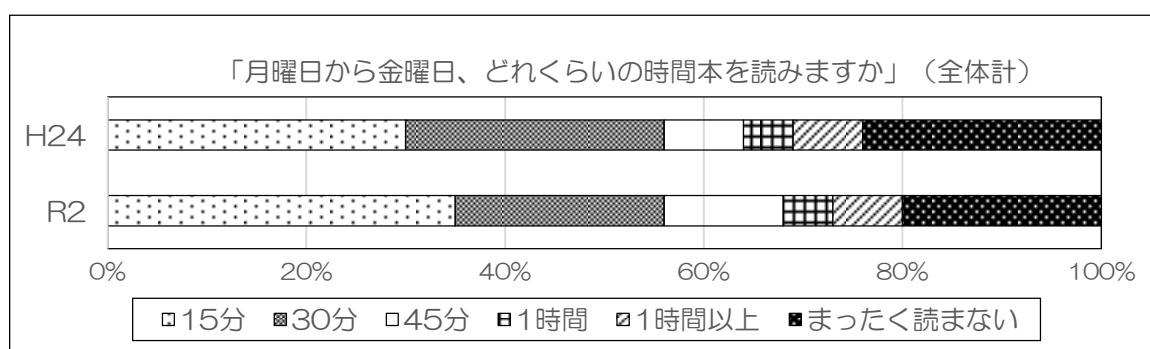


■ 平成24年度・令和2年度調査とも、「おもしろいから」本を読むと回答した児童・生徒の割合がいちばん高くなっています。

■ 平成24年度と令和2年度の調査結果を比較すると、「おもしろいから」本を読むと回答した割合が減少し、「調べもの」のためという回答が増えています。

Q3. 月曜日から金曜日、どれくらいの時間本を読みますか

学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
15分	36%	47%	34%	45%	35%	27%	20%	21%	30%	35%
30分	26%	23%	30%	20%	22%	26%	25%	16%	26%	21%
45分	14%	14%	10%	10%	5%	17%	4%	7%	8%	12%
1時間	4%	3%	5%	3%	7%	12%	4%	3%	5%	5%
1時間以上	4%	7%	11%	9%	6%	9%	6%	4%	7%	7%
まったく読まない	16%	6%	10%	13%	25%	9%	41%	49%	24%	20%

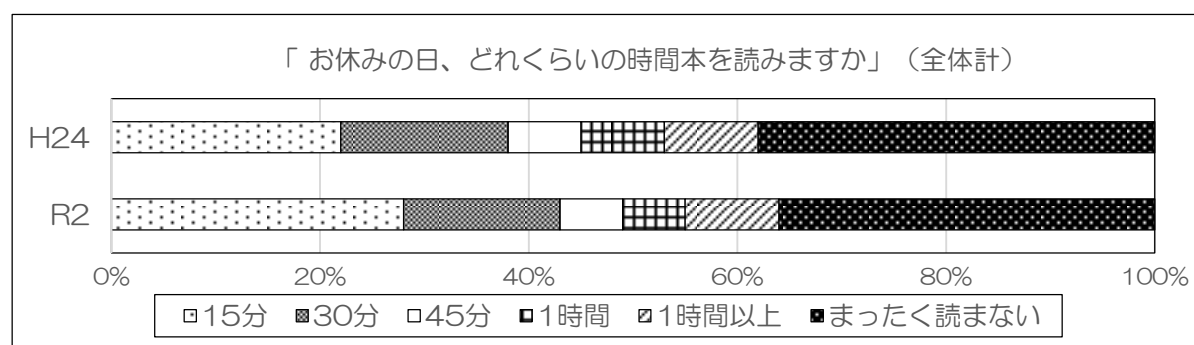


■ 令和2年度調査より、平日の読書時間は各学年とも「15分」もしくは「30分」という回答が多くなっています。「1時間」もしくは「1時間以上」と回答した割合がいちばん高いのは小学6年生で、20%を超えています。

■ 平成24年度と令和2年度の調査結果を比較すると、本を「まったく読まない」児童・生徒の割合は全体では減少していますが、小学4年生と中学生で増加しています。

Q4. お休みの日、どれくらいの時間本を読みますか

学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
15分	25%	36%	26%	38%	26%	21%	15%	17%	22%	28%
30分	26%	18%	16%	11%	14%	23%	12%	10%	16%	15%
45分	10%	12%	8%	6%	6%	6%	2%	2%	7%	6%
1時間	14%	8%	12%	7%	6%	8%	3%	2%	8%	6%
1時間以上	7%	9%	10%	9%	6%	9%	11%	10%	9%	9%
まったく読まない	18%	17%	28%	29%	42%	33%	57%	59%	38%	36%

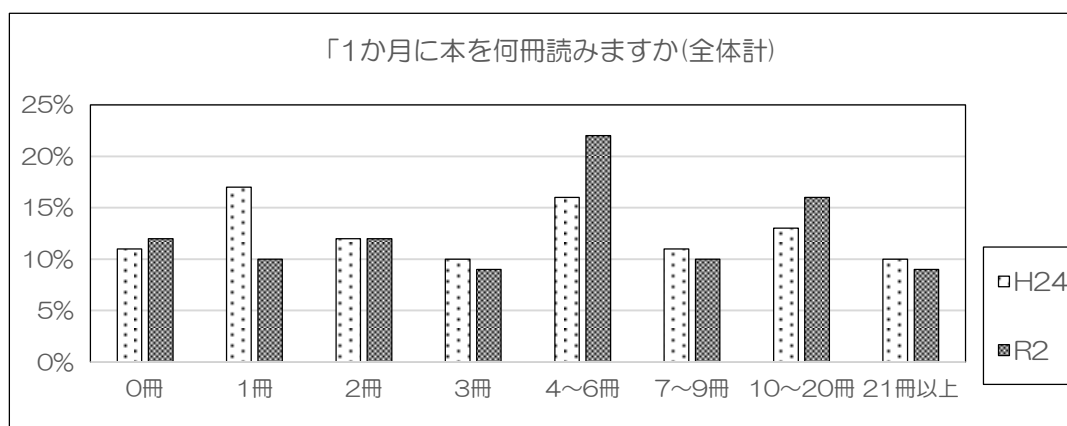


■ 令和2年度調査より、休日に本を読む児童・生徒の割合は、小学2年生では83%、小学4年生では71%、小学6年生では67%、中学生では41%となっています。

■ 令和2年度調査より、休日に本を「まったく読まない」児童・生徒の割合は全体の36%であり、学年が進むにつれてその割合は増え、中学生では59%となっています。小学6年生は、平成24年度調査結果と比べて9ポイント減少し、休日に本を読む児童が増えています。

Q5. 1か月に本を何冊くらい読みますか

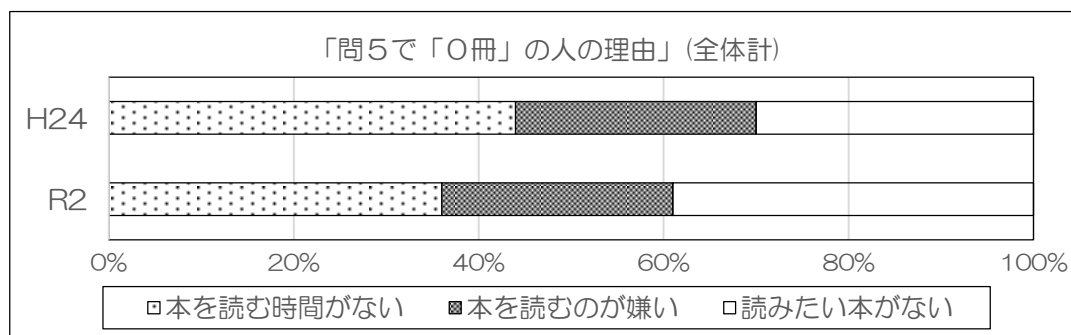
学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
0冊	0%	2%	2%	5%	12%	6%	25%	34%	11%	12%
1冊	11%	3%	11%	6%	15%	2%	28%	28%	17%	10%
2冊	3%	16%	8%	8%	15%	12%	21%	13%	12%	12%
3冊	6%	12%	9%	8%	15%	9%	9%	7%	10%	9%
4～6冊	18%	12%	19%	32%	22%	31%	7%	12%	16%	22%
7～9冊	13%	12%	20%	13%	8%	11%	3%	2%	11%	10%
10～20冊	19%	26%	21%	14%	8%	23%	6%	3%	13%	16%
21冊以上	30%	17%	10%	14%	5%	6%	1%	1%	10%	9%



■ 令和2年度調査より、小学生では1か月に「3冊以上」本を読む割合は各学年とも約80%となっていますが、中学生では25%となっています。また、中学生では「0冊」と答えた生徒の割合が、平成24年度調査よりも9ポイント増えています。（中学生：H24年度25% → R2年度34%）

Q6. 問5で「0冊」の人の理由

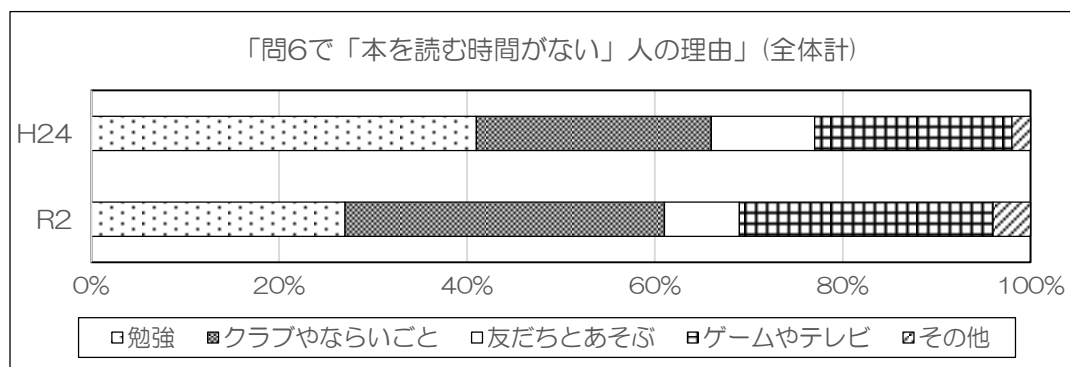
学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
本を読む時間がない	60%	0%	50%	45%	26%	25%	48%	48%	44%	36%
本を読むのが嫌い	20%	0%	50%	11%	37%	37%	17%	17%	26%	25%
読みたい本がない	20%	0%	0%	44%	37%	38%	35%	35%	30%	39%



■ 令和2年度調査より、本を1冊も読まない理由は「読みたい本がない」からが全体で最も多く、次いで「本を読む時間がない」→「本を読むのが嫌い」という順になってます。平成24年度調査と比較すると「本を読む時間がない」からと回答した割合が減少し、「読みたい本がない」からという割合が増加しています。

Q7.問6で「本を読む時間がない」人の理由（複数回答可）

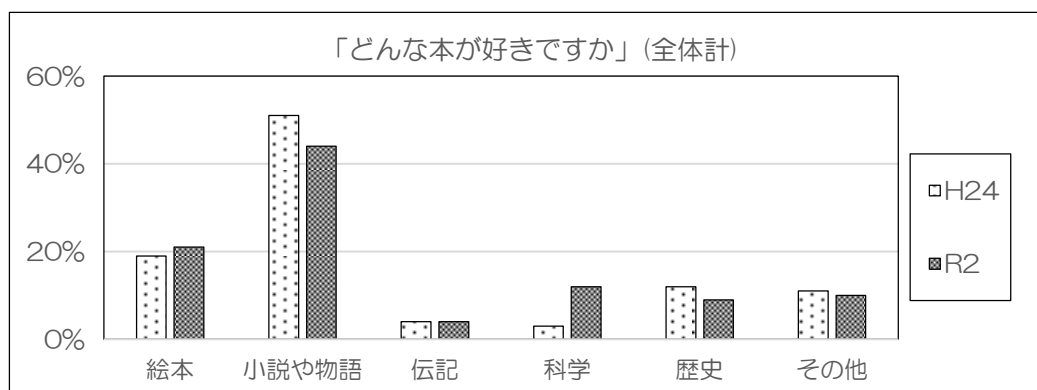
学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
勉強(塾や宿題)	80%	0%	42%	17%	36%	17%	38%	31%	41%	27%
クラブやなりたいごと	0%	0%	50%	50%	21%	33%	23%	31%	25%	34%
友だちと遊ぶ	20%	0%	8%	0%	14%	17%	9%	8%	11%	8%
ゲームやテレビ	0%	0%	0%	33%	29%	33%	26%	25%	21%	27%
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	5%	2%	4%



- 令和2年度調査より、小学生・中学生ともに「クラブやなりたいごと」があるからと回答した割合が最も高く、次いで小学生では「ゲームやテレビ」、中学生では「勉強(塾や宿題)」のためという理由になっています。
- 平成24年度と令和2年度の全体での調査結果を比較すると、「クラブやなりたいごと」（H24年度25% → R2年度34%）、「ゲームやテレビ」（H24年度21% → R2年度27%）という理由が増え、「勉強(塾や宿題)」と回答した割合が減少しています。（H24年度41% → R2年度27%）

Q8. どんな本が好きですか

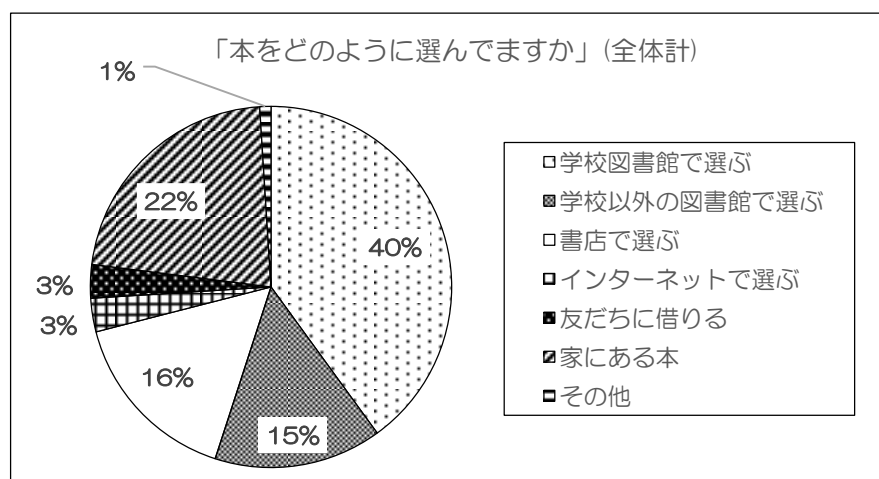
学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
絵本	59%	54%	16%	24%	10%	4%	4%	8%	19%	21%
小説や物語	17%	17%	49%	34%	50%	50%	75%	70%	51%	44%
伝記	3%	2%	5%	5%	8%	8%	2%	2%	4%	4%
科学	5%	13%	3%	17%	2%	12%	2%	4%	3%	12%
歴史	11%	3%	12%	10%	16%	12%	7%	11%	12%	9%
その他	5%	11%	15%	10%	14%	14%	10%	5%	11%	10%



- 平成24年度調査より、小学2年生では「絵本」が、その他の学年では「小説や物語」が好きと答えた割合が最も高く、学年が進むにつれて「小説や物語」を好む傾向が見られます。
- 平成24年度と令和2年度調査結果を比較すると、「科学」に関する本が好きと答えた割合が増えており（H24年度3% → R2年度12%）、特に小学生の増加が目立ちます。

Q9.本をどのように選んでいますか（複数回答可） ※平成24年度末調査項目

学年	小学2年	小学4年	小学6年	中学2年	全体計
学校図書館で選ぶ	37%	36%	43%	46%	40%
学校以外の図書館で選ぶ	12%	17%	15%	20%	15%
書店で選ぶ	15%	13%	17%	20%	16%
インターネットで選ぶ	4%	9%	0%	0%	3%
友だちに借りる	3%	2%	3%	7%	3%
家にある本	26%	23%	22%	7%	22%
その他	3%	0%	0%	0%	1%



- 小学生・中学生とも「学校図書館で選ぶ」割合が最も高く、小学生では、次に高い「家にある本」と合わせると各学年とも約6割を占めています。中学生では、「書店で選ぶ」「学校以外の図書館で選ぶ」が続き、「友だちに借りる」割合も小学生に比べて高くなっています。

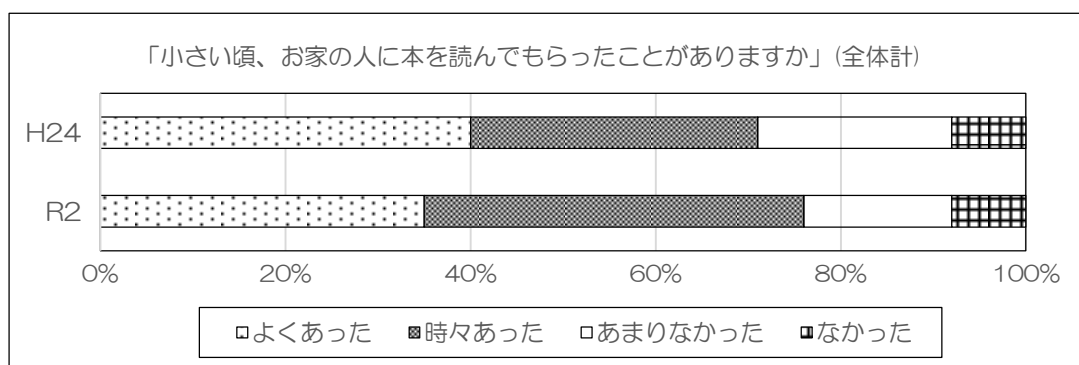
Q10.好きな本の題名・シリーズ ※平成 24 年度末調査項目

※各学年の人気 1 位から 3 位

	小学 2 年	小学 4 年	小学 6 年	中学 2 年
1	おばけずかんシリーズ	サバイバルシリーズ	5 分後シリーズ	5 分後シリーズ ハリー・ポッター シリーズ
2	おしりたんていシリーズ	かいけつゾロリ シリーズ ひみつシリーズ	サバイバルシリーズ	野いちご文庫
3	サバイバルシリーズ ほねほねザウルス シリーズ	おしりたんていシリーズ ようかいとりものちょう シリーズ	意味がわかると シリーズ	王様ゲーム 君の脾臓をたべたい 54 字の物語シリーズ ゼロから始める異世界 生活シリーズ

Q11. 小さい頃、お家の人に本を読んでもらったことがありますか

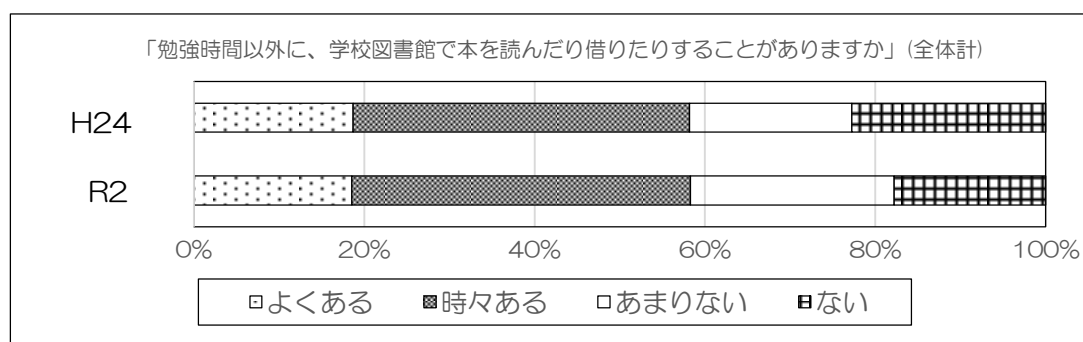
学年	小学 2 年		小学 4 年		小学 6 年		中学 2 年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よくあった	59%	35%	50%	34%	39%	42%	32%	30%	40%	35%
時々あった	21%	35%	33%	45%	39%	40%	39%	41%	31%	41%
あまりなかった	10%	17%	7%	11%	17%	15%	18%	21%	21%	16%
まったくなかった	10%	13%	10%	10%	5%	3%	11%	8%	8%	8%



- 平成2年度調査より、小学生・中学生ともに「よくあった」もしくは「時々あった」を合わせると70%以上となり、多くの家庭で読み聞かせが行われている（行われていた）ことがわかります。
- 平成24年度と令和2年度の全体での調査結果を比較すると、本を読んでもらったことが「あまりなかった」もしくは「まったくなかった」と回答した割合は減少していますが（H24年度29% → R2年度24%）、読み聞かせを行っている家庭でも「よくあった」よりも「時々あった」と回答した割合の方が増えています。（「よくあった」：H24年度40% → R2年度35%、「時々あった」：H24年度31% → R2年度41%）

Q12.勉強時間以外に、学校図書館で本を読んだり借りたりすることがありますか

学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よくある	20%	26%	24%	23%	20%	23%	12%	4%	19%	18%
時々ある	36%	43%	45%	40%	48%	48%	31%	29%	39%	40%
あまりない	18%	22%	19%	25%	20%	18%	20%	30%	19%	24%
ない	26%	9%	12%	12%	12%	11%	37%	37%	23%	18%

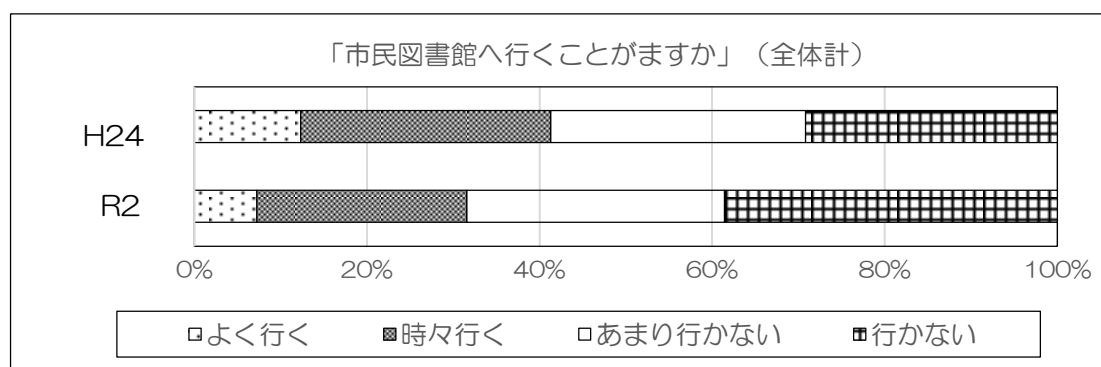


■ 令和2年度調査より、小学生では「よくある」もしくは「時々ある」を合わせると各学年とも60%を超えています。中学生では33%にとどまり、「あまりない」もしくは「ない」と回答した割合が67%となっています。

■ 平成24年度と令和2年度調査結果を比較すると、小学生ではあまり変化はみられませんが、中学生では「あまりない」もしくは「ない」と回答した割合が増えています。(H24年度57% → R2年度67%)

Q13. 市民図書館へ行くことがありますか

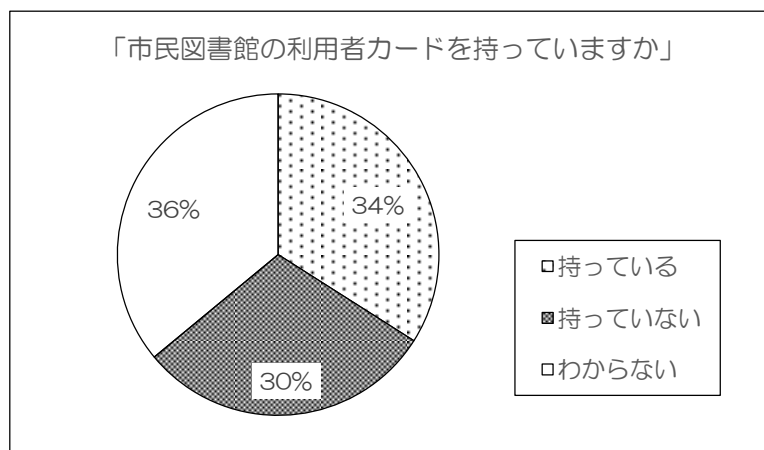
学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よく行く	23%	22%	19%	7%	9%	3%	2%	0%	12%	7%
時々行く	37%	24%	34%	42%	24%	14%	23%	16%	29%	24%
あまり行かない	14%	21%	28%	24%	37%	38%	35%	35%	30%	30%
行かない	26%	33%	19%	27%	30%	45%	40%	49%	29%	39%



■ 令和2年度調査より、小学生・中学生ともに「よく行く」もしくは「時々行く」と回答した割合は50%を下回っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等も考えられますが、小学6年生と中学生では「あまり行かない」もしくは「行かない」と回答した割合が80%を超えています。

Q14.市民図書館の利用者カードを持っていますか ※平成24年度末調査項目

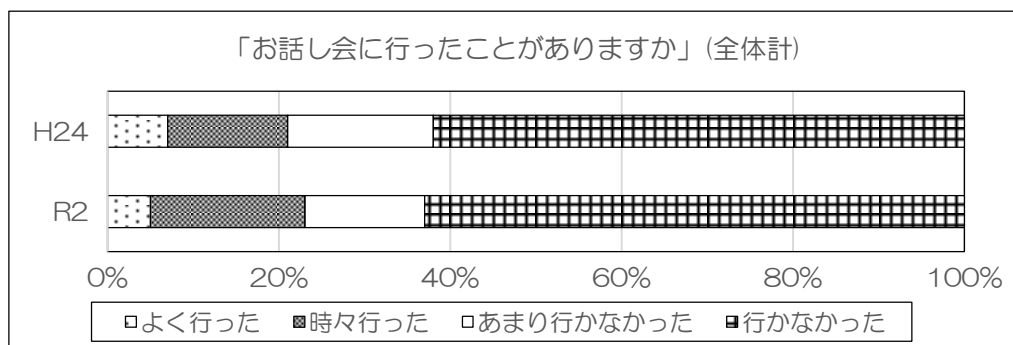
学年	小学2年	小学4年	小学6年	中学2年	全体計
持っている	30%	30%	44%	33%	34%
持っていない	28%	23%	32%	36%	30%
わからない	42%	47%	24%	31%	36%



■ 「持っていない」もしくは「わからない」と答えた割合が、小学生・中学生とも高くなっています。（小学2年生：70%、4年生：70%、6年生：56%、中学2年生：67%）

Q15. お話し会に行ったことがありますか

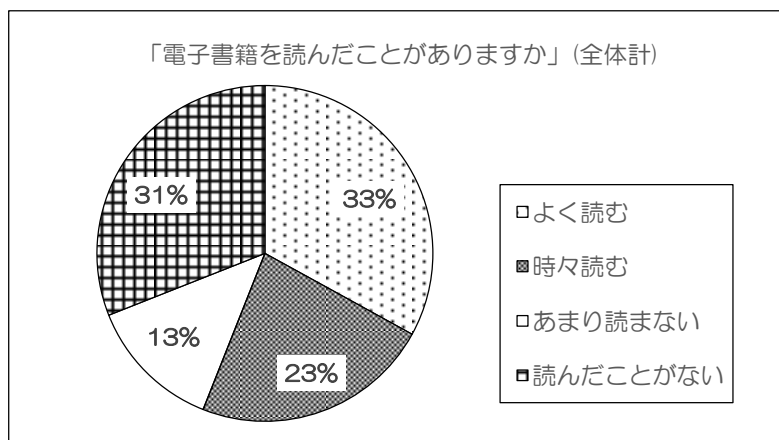
学年	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よく行った	5%	9%	13%	6%	4%	4%	5%	1%	7%	5%
時々行った	15%	14%	14%	20%	13%	20%	13%	16%	14%	18%
あまり行かなかった	14%	15%	19%	12%	20%	15%	16%	17%	17%	14%
行かなかった	66%	62%	54%	62%	63%	61%	66%	66%	62%	63%



- 令和2年度調査より、「よく行った」もしくは「時々行った」と回答した割合は全体で23%にとどまり、「行かなかった」と回答した割合は小学生・中学生ともに60%を超えています。
- 平成24年度と令和2年度調査結果を比較すると、ほとんど変化は見られませんでした。

Q16.電子書籍を読んだことがありますか ※平成24年度末調査項目

学年	小学2年	小学4年	小学6年	中学2年	全体計
よく読む	19%	23%	25%	49%	33%
時々読む	13%	23%	26%	19%	23%
あまり読まない	9%	13%	10%	13%	13%
読んだことがない	59%	41%	39%	19%	31%

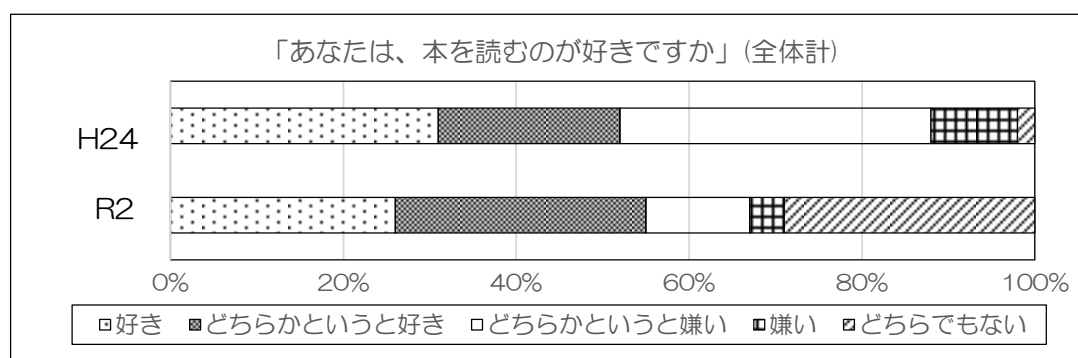


- 「よく読む」もしくは「時々読む」と回答した割合は、小学2年生では32%、4年生では46%、6年生では51%、中学生68%となっており、学年が進むにつれて電子書籍の利用率が高くなっています。

児童・生徒保護者「読書に関するアンケート」結果

Q1. あなたは、本を読むのが好きですか

学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
好き	29%	33%	29%	23%	37%	27%	30%	22%	31%	26%
どちらかという好き	23%	33%	18%	30%	22%	25%	22%	27%	21%	29%
どちらかという嫌い	35%	13%	41%	13%	31%	10%	36%	14%	36%	12%
嫌い	13%	1%	11%	7%	7%	3%	8%	5%	10%	4%
どちらでもない	0%	20%	1%	27%	3%	35%	4%	32%	2%	29%

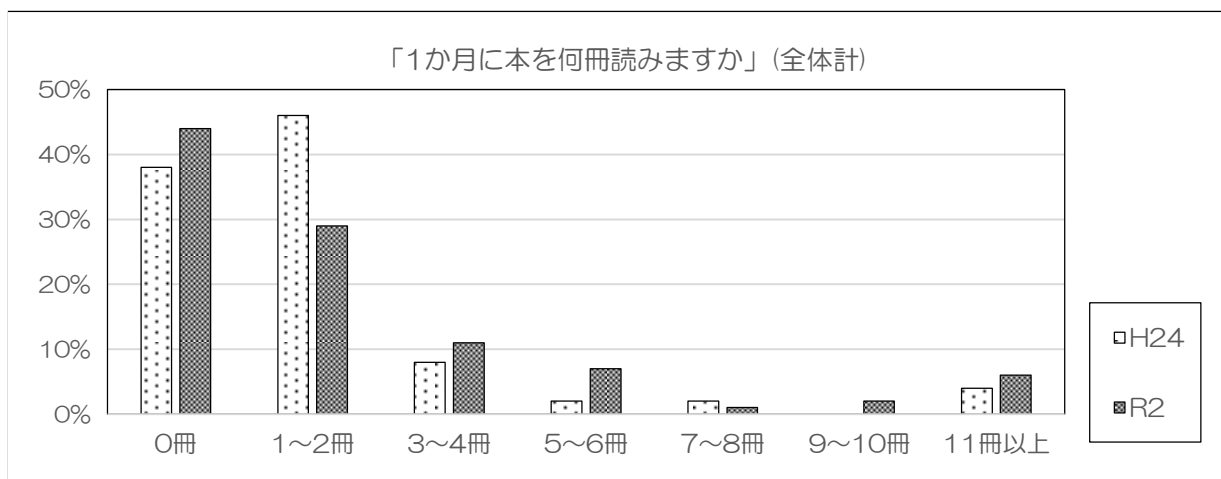


■ 令和2年度調査より、本を読むのが「好き」もしくは「どちらかという好き」と回答した割合は全体で55%、「嫌い」もしくは「どちらかという嫌い」と答えた割合は16%となっています。

■ 平成24年度調査と比較すると、「嫌い」もしくは「どちらかという嫌い」と回答した割合は減少していますが(H24年度46%→R2年度16%)、「好き」もしくは「どちらかという好き」に変化は見られず、「どちらでもない」と回答した割合が増加しています。(H24年度46%→R2年度16%)

Q2. 1か月に本を何冊くらい読みますか

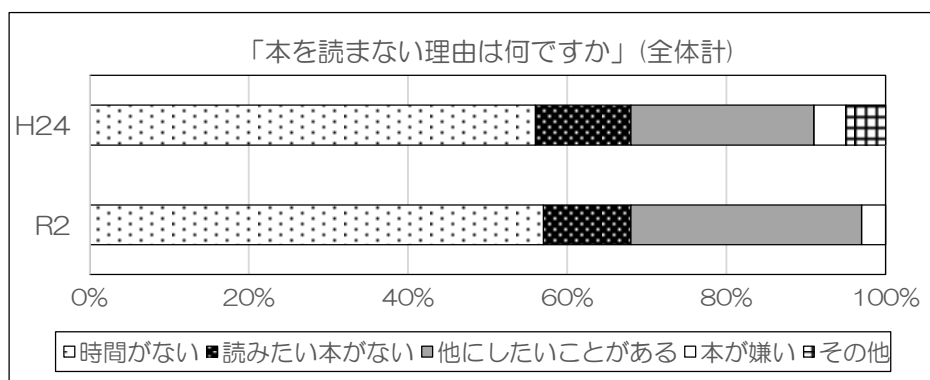
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
0冊	39%	39%	36%	38%	36%	45%	41%	55%	38%	44%
1～2冊	43%	25%	45%	29%	52%	29%	46%	31%	46%	29%
3～4冊	12%	13%	9%	11%	6%	12%	5%	8%	8%	11%
5～6冊	0%	5%	3%	9%	1%	10%	2%	5%	2%	7%
7～8冊	1%	1%	3%	2%	1%	2%	3%	0%	2%	1%
9～10冊	1%	5%	1%	2%	0%	1%	0%	0%	0%	2%
11冊以上	4%	12%	3%	9%	4%	1%	3%	1%	4%	6%



- 令和2年度調査より、すべての学年で「0冊」との回答が最も多く、小学生保護者では約40%、中学生保護者では55%となっています。一方で、ひと月に「1～4冊」本を読む保護者も全体で40%おり、定期的に本を読む保護者の割合も一定数いることがわかります。
- 平成24年度調査と令和2年度の調査結果を比較すると、「0冊」と回答した割合が増えています。

Q3. 本を読まない理由は何ですか

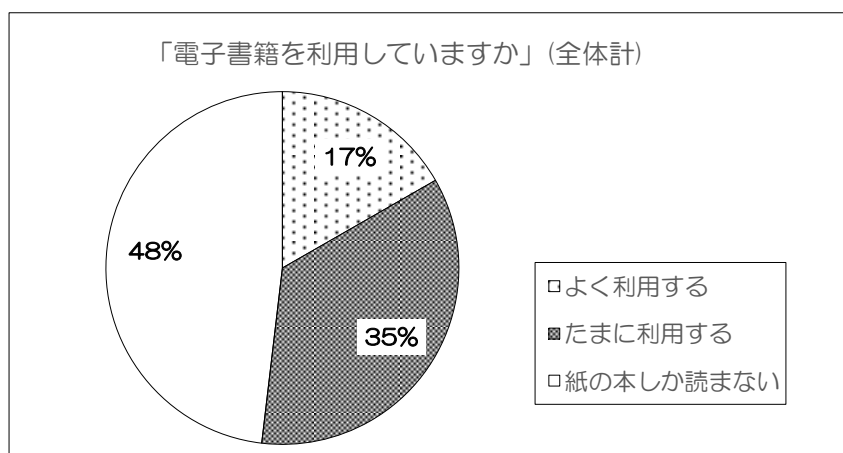
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
時間がない	58%	67%	50%	43%	63%	61%	56%	59%	56%	57%
読みたい本がない	9%	12%	16%	15%	6%	7%	15%	11%	12%	11%
他にしたいことがある	26%	21%	25%	36%	17%	32%	23%	24%	23%	29%
本が嫌い	5%	0%	5%	4%	6%	0%	0%	6%	4%	3%
その他	2%	0%	4%	2%	8%	0%	6%	0%	5%	0%



- 令和2年度調査より、本を読まない理由は「時間がない」からとの回答が最も多く全体で57%、次いで「他にしたいことがある」が29%となっています。平成24年度調査と比較して、回答にあまり変化は見られませんでした。

Q4.電子書籍を利用していますか ※平成24年度末調査項目

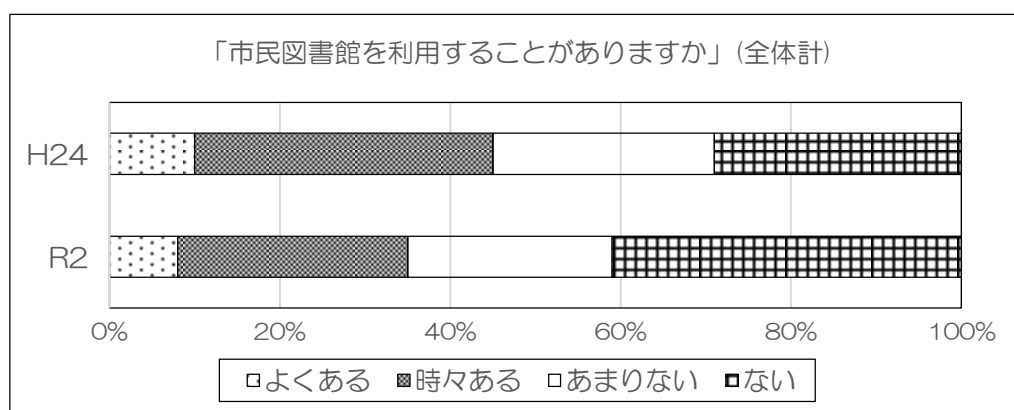
学年	小2保護者	小4保護者	小6保護者	中2保護者	全体計
よく利用する	9%	16%	16%	27%	17%
たまに利用する	34%	32%	37%	38%	35%
紙の本しか読まない	57%	52%	47%	35%	48%



■ 電子書籍を「よく利用する」もしくは「たまに利用する」と回答した保護者は、全体で52%となっており、「紙の本しか読まない」をわずかに上回っています。

Q5. 市民図書館を利用することがありますか

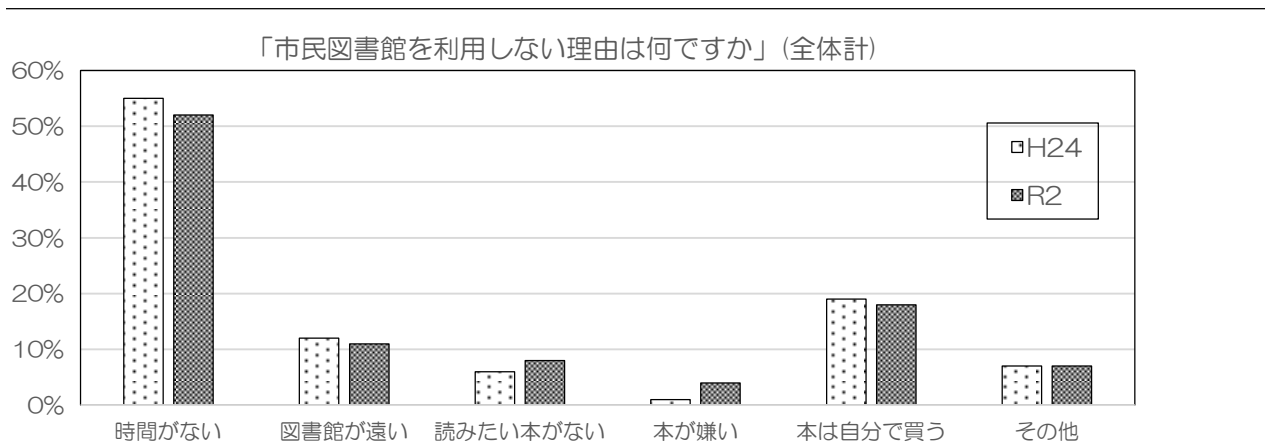
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よくある	12%	16%	12%	9%	11%	4%	3%	4%	10%	8%
時々ある	39%	23%	43%	32%	27%	25%	31%	26%	35%	27%
あまりない	25%	21%	23%	23%	30%	24%	26%	30%	26%	24%
ない	24%	40%	22%	36%	32%	47%	40%	40%	29%	41%



■ 令和2年度調査より、市民図書館を利用する児童・生徒の保護者の割合は、「よくある」もしくは「時々ある」が全体で35%、「あまりない」もしくは「ない」が65%となっています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等もあるかもしれませんが、平成24年度調査結果と比較してみても「よくある」もしくは「時々ある」と回答した割合が10ポイント減少し、「あまりない」もしくは「ない」が10ポイント増となっています。

Q6. 市民図書館を利用しない理由は何ですか

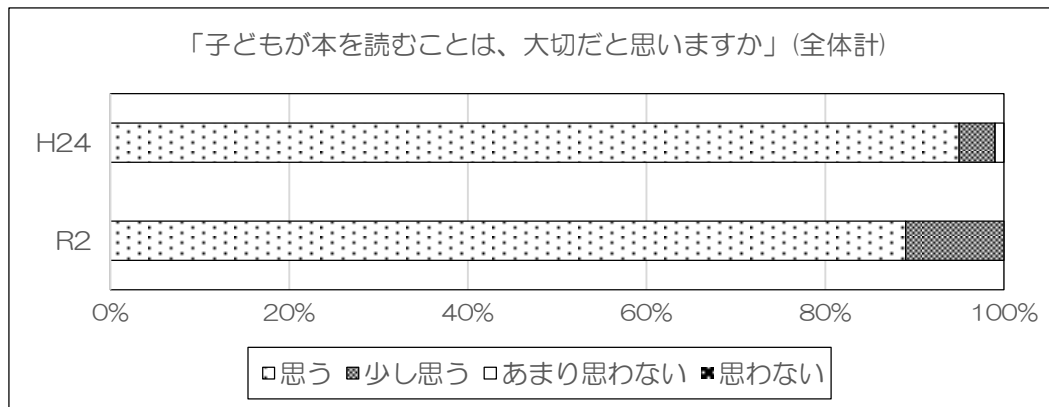
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
時間がない	64%	60%	49%	43%	52%	52%	56%	54%	55%	52%
図書館が遠い	9%	10%	9%	21%	16%	8%	12%	7%	12%	11%
読みたい本がない	0%	6%	12%	9%	7%	7%	5%	11%	6%	8%
本が嫌い	2%	2%	3%	9%	0%	1%	1%	2%	1%	4%
本は自分で買う	18%	11%	20%	13%	19%	25%	20%	21%	19%	18%
その他	7%	11%	7%	5%	6%	7%	6%	5%	7%	7%



■ 令和2年度調査より、市民図書館を利用しない理由は「時間がない」からが最も多く全体で52%、次いで「本は自分で買う」からが18%となっています。平成24年度調査と比較して、回答にあまり変化は見られませんでした。

Q7. 子どもが本を読むことは、大切だと思いますか

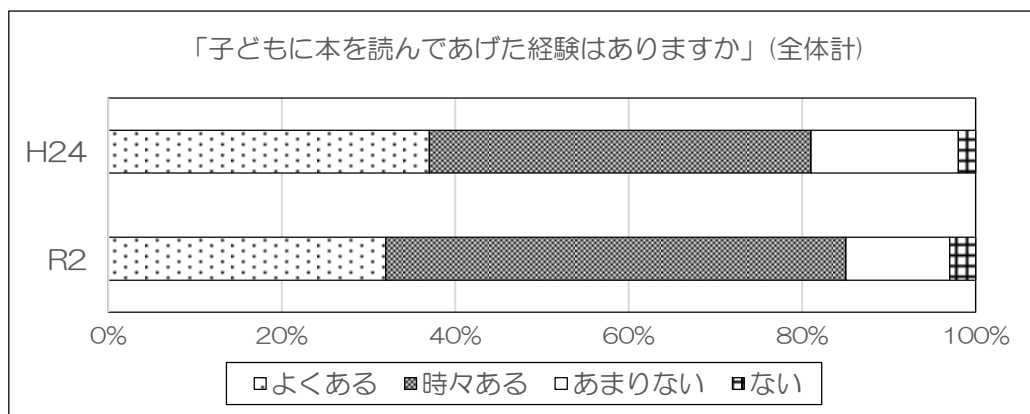
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
思う	95%	91%	94%	87%	97%	89%	96%	89%	95%	89%
少し思う	5%	9%	4%	13%	3%	11%	3%	11%	4%	11%
あまり思わない	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
思わない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%



- 令和2年度調査より、保護者のほぼ全員が、子どもが本を読むことは大切だと「思う」もしくは「少し思う」と回答しています。
- 平成24年度調査結果と比較して、回答にあまり変化は見られませんでした。大切だと「思う」と回答した保護者の割合が各学年とも減少しており、「少し思う」と回答した割合が増えています。

Q8. 子どもに本を読んであげた経験はありますか

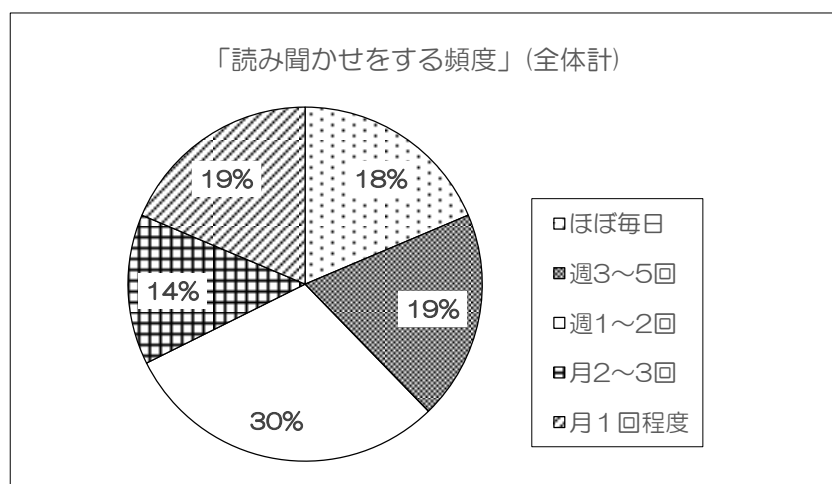
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よくある	38%	36%	38%	26%	45%	36%	28%	32%	37%	32%
時々ある	48%	57%	47%	55%	30%	44%	50%	57%	44%	53%
あまりない	14%	7%	12%	16%	24%	15%	19%	8%	17%	12%
ない	0%	0%	3%	3%	1%	5%	3%	3%	2%	3%



- 令和2年度調査より、子どもに本を読んであげた経験が「よくある」もしくは「時々ある」と回答した保護者は全体で85%となっており、多くの家庭で読み聞かせが行われていることがわかります。平成24年度調査結果と比較すると、その割合は4ポイント増えています。

Q9.読み聞かせをする頻度 ※平成24年度末調査項目

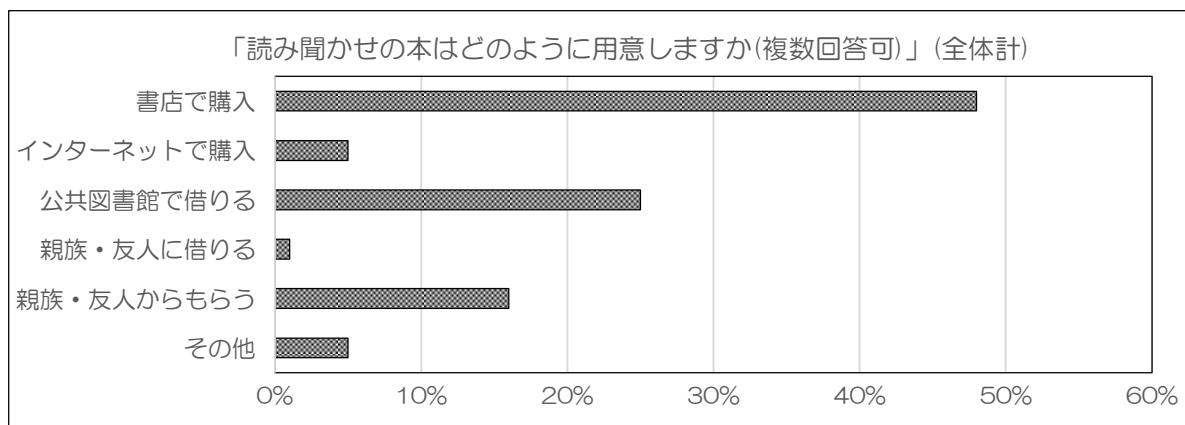
学年	小2保護者	小4保護者	小6保護者	中2保護者	全体計
ほぼ毎日	21%	9%	30%	19%	18%
週3～5回	9%	19%	14%	35%	19%
週1～2回	34%	37%	20%	25%	30%
月2～3回	20%	11%	14%	12%	14%
月1回程度	16%	24%	22%	9%	19%



■ 読み聞かせをする頻度は、「週1～2回」と回答した割合が最も高く全体で30%、「週1回以上」行っている(いた)家庭は全体で67%となっています。

Q10.読み聞かせの本はどのように用意しますか(複数回答可) ※平成24年度末調査項目

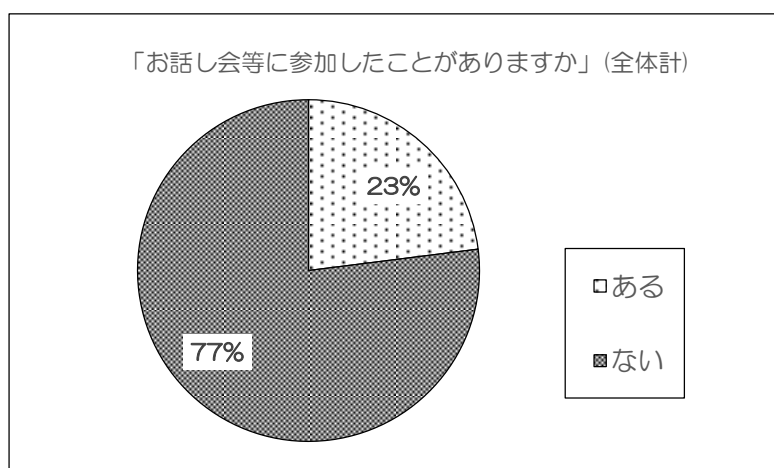
学年	小2保護者	小4保護者	小6保護者	中2保護者	全体計
書店で購入	39%	50%	52%	53%	48%
インターネットで購入	7%	2%	5%	3%	5%
公共図書館で借りる	26%	27%	22%	26%	25%
親族・友人に借りる	2%	1%	2%	0%	1%
親族・友人からもらう	16%	17%	15%	17%	16%
その他	10%	3%	4%	1%	5%



- 読み聞かせをする本は、「書店で購入」する（していた）と回答した割合が最も高く全体で48%、次いで「公共図書館で借りる（借りていた）」が25%となっています。

Q11.おはなし会等に参加したことがありますか ※平成24年度末調査項目

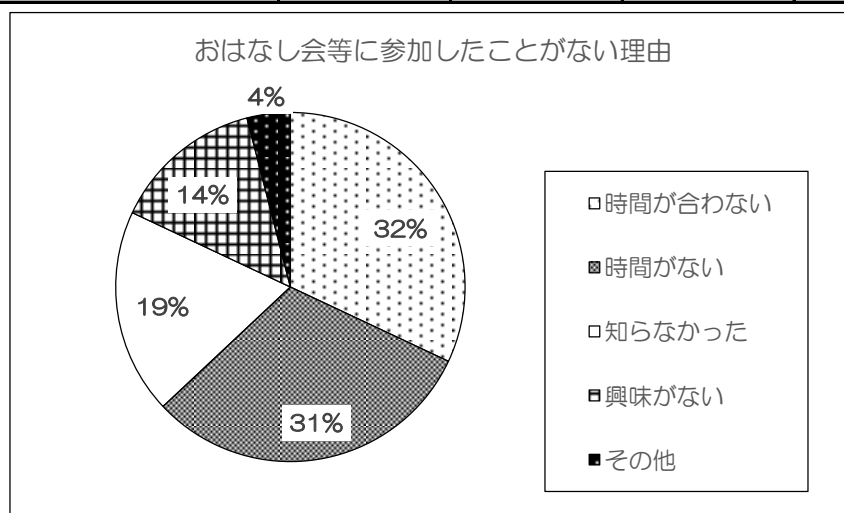
学年	小2保護者	小4保護者	小6保護者	中2保護者	全体計
ある	19%	25%	25%	23%	23%
ない	81%	75%	75%	77%	77%



- おはなし会等に参加したことが「ある」と回答した割合は全体で23%にとどまり、「ない」と回答した割合を大きく下回っています。

Q12.おはなし会等に参加したことが無い理由（複数回答可） ※平成24年度末調査項目

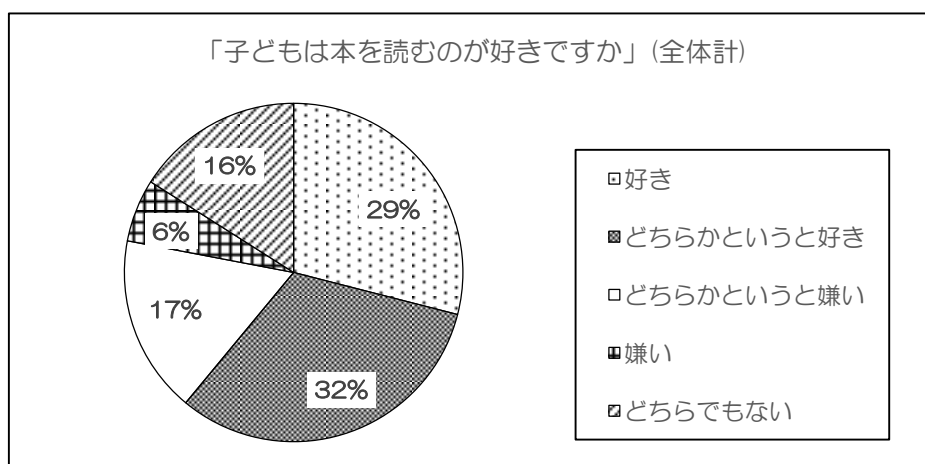
学年	小2保護者	小4保護者	小6保護者	中2保護者	全体計
時間が合わない	40%	34%	31%	24%	32%
時間がない	30%	28%	30%	37%	31%
知らなかった	17%	21%	19%	18%	19%
興味がない	9%	14%	16%	18%	14%
その他	4%	3%	4%	3%	4%



- おはなし会等に参加したことがない理由については、「時間が合わない」もしくは「時間がない」からと回答した割合が全体の半数以上の63%、「知らなかった」が19%、「興味がない」・「その他」が18%となっています。

Q13.子どもは本を読むのが好きですか ※平成24年度末調査項目

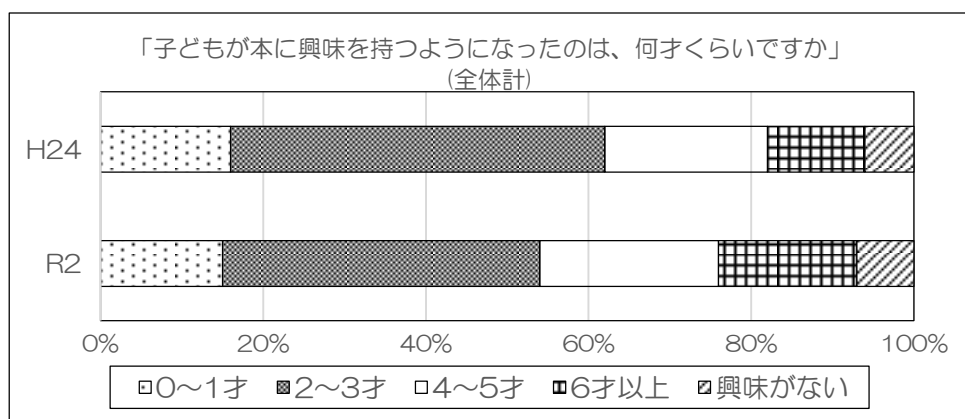
学年	小2保護者	小4保護者	小6保護者	中2保護者	全体計
好き	33%	24%	28%	31%	29%
どちらかという好き	40%	33%	31%	23%	32%
どちらかという嫌い	11%	20%	15%	21%	17%
嫌い	2%	7%	8%	8%	6%
どちらでもない	14%	16%	18%	17%	16%



- 子どもが本を読むのが「好き」もしくは「どちらかという好き」と回答した保護者の割合は全体で61%、「嫌い」もしくは「どちらかという嫌い」が23%となっており、児童・生徒に行った同内容のアンケート結果と大きなズレはありませんでした。

Q14. 子どもが本に興味を持つようになったのは、何才くらいですか

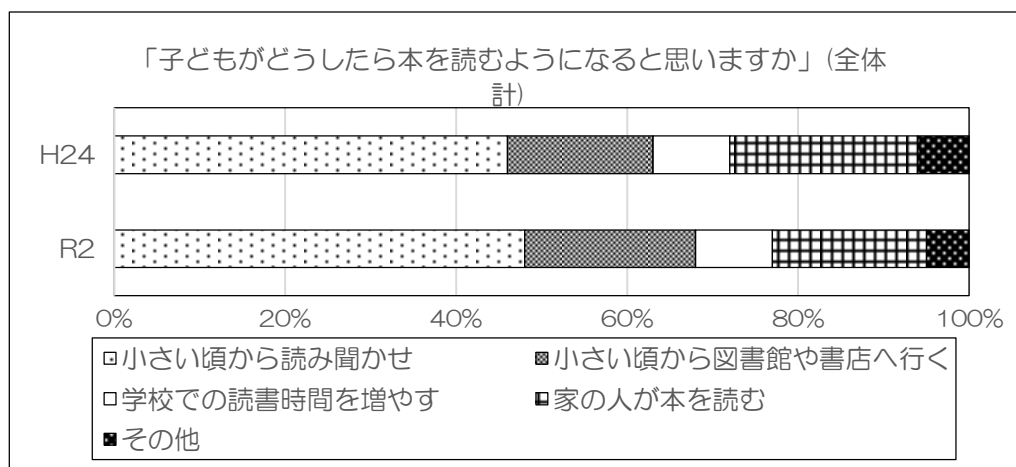
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
0～1才	19%	19%	21%	11%	11%	17%	14%	13%	16%	15%
2～3才	52%	44%	43%	41%	46%	40%	45%	33%	46%	39%
4～5才	21%	23%	19%	28%	22%	19%	18%	17%	20%	22%
6才以上	5%	11%	11%	14%	12%	17%	18%	26%	12%	17%
興味がない	3%	3%	6%	6%	9%	7%	5%	11%	6%	7%



■ 令和2年度調査より、子どもが本に興味を持つようになったのは、「2~3才」くらいと回答した割合が最も高く全体で39%、次いで「4~5才」くらいが22%となっており、乳幼児期に本に興味を持つようになる子どもが多いことがわかります。

Q15. 子どもがどうしたら本を読むようになると思いますか

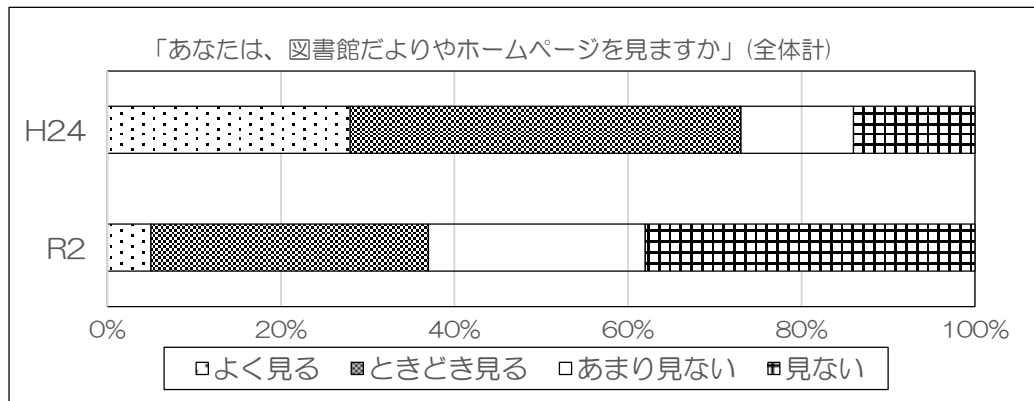
学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
小さい頃から読み聞かせ	49%	59%	42%	47%	49%	47%	43%	42%	46%	48%
小さい頃から図書館や書店へ行く	12%	13%	17%	24%	16%	17%	23%	24%	17%	20%
学校での読書時間を増やす	7%	8%	10%	7%	8%	10%	10%	9%	9%	9%
家の人が本を読む	26%	17%	20%	18%	24%	19%	21%	18%	22%	18%
その他	6%	3%	11%	4%	3%	7%	3%	7%	6%	5%



■ 令和2年度調査より、子どもが本を読むようになるためには、「小さい頃から読み聞かせ」を行うと回答した保護者が最も多く全体で48%、次いで「小さい頃から図書館や書店へ行く」が20%、「家の人が本を読む」が18%となっており、半数以上の保護者が「小さい頃からの読み聞かせ」や「小さい頃から本と触れ合う」ことが大切だと考えていることがわかります。

Q16. あなたは、図書館だよりやホームページを見ますか

学年	小2保護者		小4保護者		小6保護者		中2保護者		全体計	
	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2	H24	R2
よく見る	25%	8%	27%	8%	34%	3%	25%	3%	28%	5%
ときどき見る	48%	29%	53%	27%	38%	30%	40%	43%	45%	32%
あまり見ない	9%	27%	7%	27%	18%	21%	19%	23%	13%	25%
見ない	18%	36%	13%	38%	10%	46%	16%	31%	14%	38%

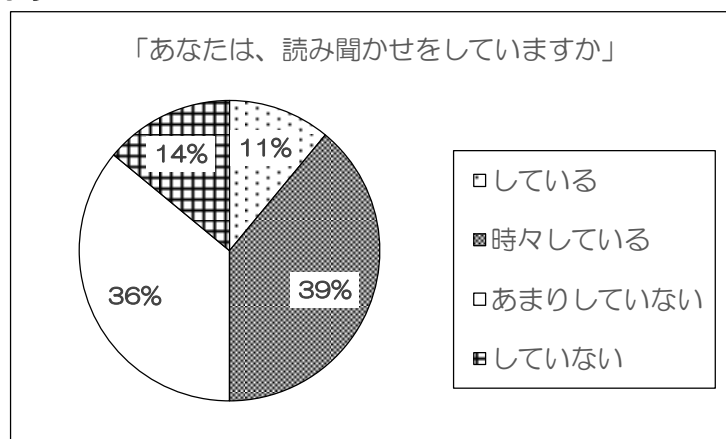


- 平成2年度調査より、「よく見る」もしくは「ときどき見る」と回答した保護者は全体で37%、「見ない」もしくは「あまり見ない」と回答した保護者は63%となっており、市民図書館が発信する情報が十分に行き届いていないことが調査結果からうかがえます。

幼児保護者「読書に関するアンケート」結果

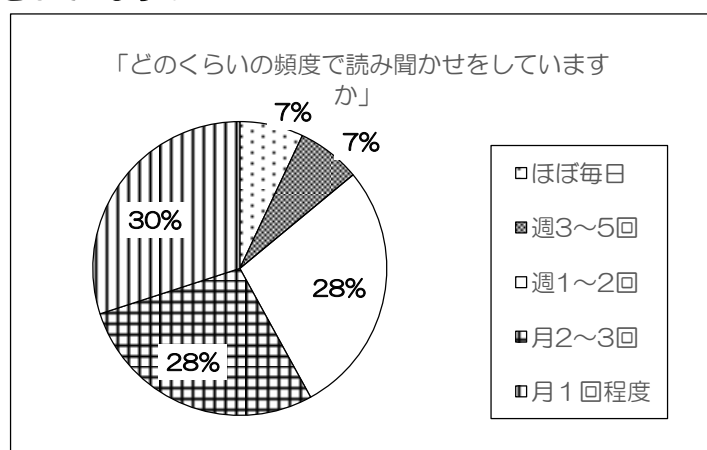
Q1. あなたは、読み聞かせをしていますか

している	11%
時々している	39%
あまりしていない	36%
していない	14%



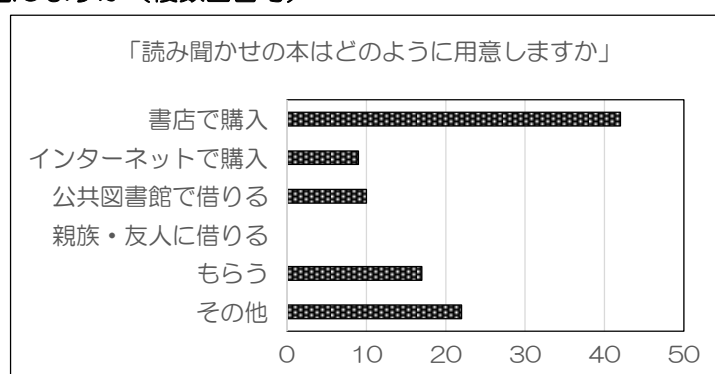
Q2. どのくらいの頻度で読み聞かせをしていますか

ほぼ毎日	7%
週3～5回	7%
週1～2回	28%
月2～3回	28%
月1回程度	30%



Q3. 読み聞かせの本はどのように用意しますか（複数回答可）

書店で購入	42%
インターネットで購入	9%
公共図書館で借りる	10%
親族・友人に借りる	0%
もらう	17%
その他	22%

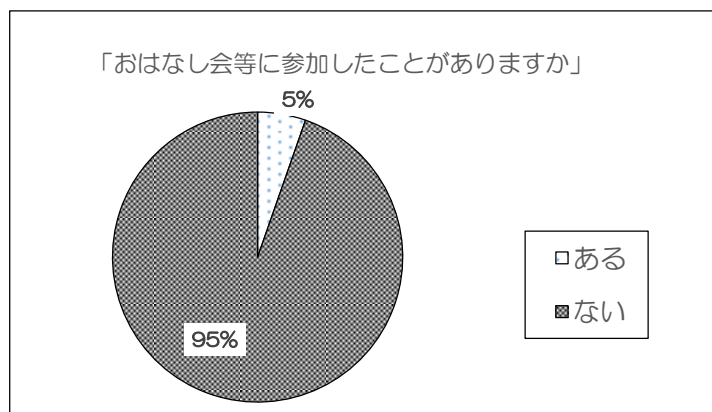


■ 子どもに読み聞かせを「している」または「時々している」と回答した幼児保護者の割合は50%、その中で「週1回以上」行っていると回答した割合は42%となっており、小・中学生保護者の調査結果と比較すると低くなっています。(小・中学生保護者：子どもに本を読んであげた経験が「よくある」または「時々ある」85%、読み聞かせの頻度「週1回以上」67%)

■ 読み聞かせをする本は「書店で購入する」が最も多く42%、次いで「親族・友人からもらう」が17%、「公共図書館で借りる」が10%、「インターネットで購入する」が9%となっています。

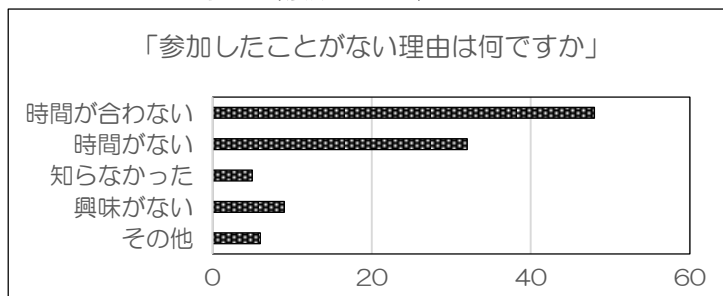
Q4. おはなし会等に参加したことがありますか

ある	5%
ない	95%



Q5. おはなし会等に参加したことがない理由は何ですか（複数回答可）

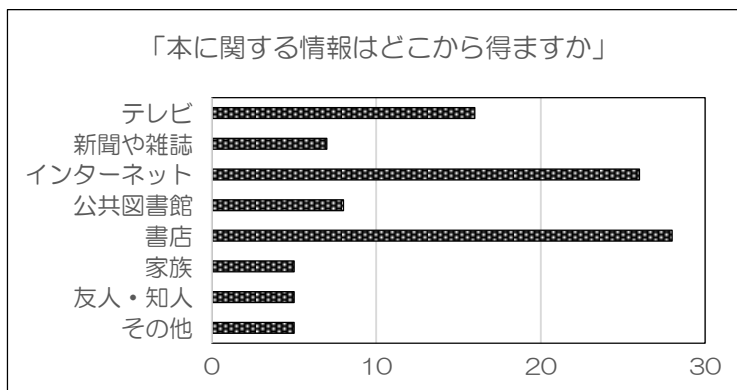
時間が合わない	48%
時間がない	32%
知らなかった	5%
興味がない	9%
その他	6%



■ 幼児保護者では、おはなし会等に参加したことが「ない」と回答した割合が95%となっており、その理由は「時間が合わない」もしくは「時間がない」からが80%となっています。これは小・中学生保護者の調査結果と比較すると、かなり高い割合となっています。(小・中学生保護者：お話し会に参加したことが「ない」77%、その理由は「時間が合わない」もしくは「時間がない」から63%)

Q6. 本に関する情報はどこから得ますか（複数回答可）

テレビ	16%
新聞や雑誌	7%
インターネット	26%
公共図書館	8%
書店	28%
家族	5%
友人・知人	5%
その他	5%



- 本に関する情報は、幼児保護者では「書店」から得るが最も多く28%、次いで「インターネット」からが26%、「テレビ」からが20%、「公共図書館」からが10%となっています。小・中学生保護者の調査結果と比較すると、多少の順位の入れ替わりはありますが、マスメディアやインターネットから情報を得る割合が半数近くの49%を占めています。